

『祠部職掌類聚 親王宮方 御判物 御黒印・御朱印』

藩法研究会 丹波篠山班

橋本 久
牧田 勲
山田 勉

凡例

である。

一 本稿は、静嘉堂文庫所蔵『祠部職掌類聚 親王宮方 御判物・御黒印・御朱印』(二〇三四五)一冊を翻刻した。

一 各宮家・門跡・寺院ごとに仮番号を付し、文書ごとに枝番号を付した。

一 各丁の表裏を、末尾に「オ」「ウ」「イ」…のごとく表記した。白紙の面は、この記号のみ付す。

一 「」は編者の注記である。
一 本書の複写・翻刻を許可いただいた静嘉堂文庫の関係者各位に深謝する。

一 変体仮名はひらがなに改めた。ただし「乃」之は原文のまま

一 本稿は、橋本が担当した。解題は紙数の都合で別稿とする。

〔表紙〕



縦★cm×横★cm

〔内表紙〕

親王 宮 御門跡 御比丘尼方

静嘉堂現蔵

神部

松平氏 蔵書章

御判物
御黒印
御朱印
寫

村別書付
差出書付

二才
二之

〔目録〕

20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

- 閑院宮
- 有栖川宮
- 伏見宮
- 京極殿
- 仁和寺宮
- 青蓮院宮
- 一乘院宮
- 妙法院宮
- 同御持
- 蓮華王院
- 聖護院宮
- 同御兼持
- 照高院宮
- 右同断
- 華臺院
- 右同断
- 積善院
- 圓満院宮
- 梶井宮
- 大覺寺御門跡
- 大乘院御門跡
- 三寶院御門跡
- 安井御門跡
- 同御持
- 真性寺

三才

有徳院様御判物寫

1・1

閑院宮

- 1 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21
- 大聖寺宮
- 同御兼帶 圓照寺
- 同御持 本光院
- 歆喜寺
- 慈雲院
- 撰取院
- 光昭院宮
- 林丘寺宮
- 中宮寺宮
- 三時智恩寺殿
- 總持院殿
- 寶慈院殿
- 繼孝院
- 瑞華院
- 御兼帶 惠聖院
- 養林菴

〔四寸〕 〔四寸〕 〔三寸〕 〔三寸〕 〔二寸〕

1・3
俊明院様御判物寫

閑院殿

延享四年八月十一日 御名乘御書判

撰津國西成郡堀上村式百六拾石八斗餘、南宮原村三百

1・2
惇信院様御判物寫

閑院殿

享保四年五月廿一日 御名乘御書判

山城國乙訓郡灰方村之内百五拾八石六斗餘、丹波國
船井郡日置村之内式百貳拾九石餘、賀美村之内
六百拾貳石三斗餘、都合千石事、御知行不可有
相違之狀如件、

山城國乙訓郡灰方村之内百五拾八石六斗餘、丹波國
船井郡日置村之内式百貳拾九石餘、賀美村之内

六百拾貳石三斗餘、都合千石事、依當家先判之例、
御知行不可有相違之狀如件、

料 資

式拾弍石弍斗餘、嶋下郡西藏垣内村弍百拾九石餘、丑寅村之内弍百拾四石七斗餘、都合千石事、依當家先判之例、〔五之〕御知行不可有相違之状如件、

寶曆十二年八月十一日 御名乘御書判

閑院殿

1.4

覺

閑院宮御料

撰津國西成郡

一 高弍百六拾石八斗四升七合 堀上村

同國同郡

一 高三百弍拾弍石弍斗六升九合 南宮原村

同國同郡

一 高弍百拾九石壹升三合 西藏垣内村

同國同郡

一 高弍百拾四石七斗八升七合 丑寅村

合千拾六石九斗壹升六合 〔六之〕

外

高弍斗六升 洩小物成高入 南宮原村之内

右之通御座候以上、

閑院宮御内

天明七丁未年三月 浅井 近江守判 浅井大藏權少輔判

中山前大納言樣

万里小路前大納言樣

雜掌衆中

1.5

覺

閑院宮御知行御判物

權現樣より 〔福川家傳〕

〔福川家傳〕 嚴有院樣迄之御判物御朱印無御座諷、右者正徳元卯年

此御方御新立三付、始而御知行被進之御判物者、

有徳院樣御代享保四亥年、始而被進候御事御座候、依之

右

御先代御判物不被為有候以上、

閑院宮御内

四月 浅井大藏權少輔

中山前大納言樣

万里小路前大納言樣

雜掌衆中

〔七之〕

〔六之〕

2 有栖川宮

〔八才〕
〔八乙〕

2・1
常憲院様御判物写

山城國葛野郡大井郷太秦村之内千石事、全
御知行不可有相違之状如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判

有栖川殿

2・2
有徳院様御判物写

山城國葛野郡大井郷太秦村之内千石事、依當家先判
之例、御知行不可有相違之状如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判

有栖川殿

〔九才〕

2・3
惇信院様御判物寫

山城國葛野郡大井郷太秦村之内千石事、依當家

先判之例、御知行不可有相違之状如件、

延享四年八月十一日 家重御判

有栖川殿

2・4
湊明院様御判物写

山城國葛野郡大井郷太秦村之内千石事、依當家
先判之例、御知行不可有相違之状如件、

〔九乙〕

寶曆十二年八月十一日 家治御判

有栖川殿

2・5

有栖川殿御知行所村別覚

高千石

山城國葛野郡大井郷
太秦村之内

内

一 三百三拾五石八斗六升弍合五夕

安養寺村

一 六百六拾四石三斗三升七合

太秦村之内

右之通御座候以上、

〔一〇才〕

未四月十三日

有栖川宮御内

嶋津上佐守印

粟津伊勢守印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

2・6

覺

有栖川殿御家領、先

高松殿江御家領被進候節、板倉周防守殿以書付

被仰渡候、右之書付辛丑年火事三消失候由三御座候、二〇〇

藏有院様御代御朱印御改之時分、有

栖川殿未之成御相統候、右之通三而御

代々御判物御所持無御座候以上、

有栖川宮御内

嶋津上佐守

粟津伊勢守

未四月十三日

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

2・7

覺

常憲院様

有徳院様

惇信院様

浚明院様

又四通

御判物寫

御判物寫

御判物寫

御判物寫

3

伏見宮

3・1

台徳院様御判物寫

目錄

一 三百三拾四石九斗餘

一 八石三斗餘

一 七石貳斗餘

一 五拾貳石八斗餘

一 三石三斗餘

一 五拾石

一 貳百六拾九石四斗餘

一 二百拾四石八斗餘

一 六拾石六斗餘

合千貳石七斗餘

聚楽内野島

三本木

花園村之内

吉祥院村之内

上久世村之内

鶏冠井村之内

今里村

下海印寺村

金原村

此外山林竹木等有之、

右如先々可有全御知行之状如件、

〔三三〕

元和三年九月十一日

秀忠御判

伏見殿

3・2

敝有院様御判物写

山城國葛野郡聚楽之内野畠參百三拾

四石九斗餘、三本木之内八石三斗餘、花園村

内七石式斗餘、紀伊郡吉祥院村之内五拾二石

八斗餘、乙訓郡上久世村之内三石三斗餘、鷄

冠井村内五拾石、今里村式百六拾九石四斗餘、下海印寺村

式百拾四石八斗餘、金原村六拾石六斗餘、都合千壹石七斗

餘事、全可有御知行并山林竹木等、任元和三年九月

十一日先判之旨弥不可有相違之状如件、

〔三三〕

寛文五年十一月三日

家綱御判

伏見殿

3・3

常意院様御判物写

山城國葛野郡聚楽之内野畠三百三拾七石餘、西京村之内五石參斗餘、朱雀村之内九斗餘、愛宕郡花園村内七石式斗餘、紀伊郡吉祥院村之内五拾式石八斗餘、乙訓郡上久世村之内三石三斗餘、鷄冠井村之内五拾石、今里村之内式百六拾九石四斗餘、下海印寺村式百拾四石八斗餘、金原村六拾石六斗餘、都合千壹石七斗餘事、如先規全可有御知行并山林竹木等、弥不可有相違之状〔三四〕如件、

貞享二年六月十一日

綱吉御判

伏見殿

3・4

有德院様御判物写

山城國葛野郡聚楽廻之内三百拾五石七斗餘、西京村

之内五石三斗餘、朱雀村之内九斗餘、西院村之内五石

四斗餘、愛宕郡花園村之内七石式斗餘、千本廻之内

拾五石八斗餘、紀伊郡吉祥院村之内五拾式石八斗餘、

乙訓郡上久世村之内三石參斗餘、鷄冠井村之内五拾石、

今里村之内式百六拾九石四斗餘、下海印寺村式百拾四石〔二四〕

八斗餘、金ヶ原村六拾石六斗餘、都合千壹石七斗餘事、依當家

先判之例御知行并山林竹木等、弥不可有相違之状

如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判

伏見殿

3・5

倅信院様御判物写

山城國葛野郡聚樂廻之内三百拾五石七斗餘、西京村之内
 五石三斗餘、朱雀村之内九斗餘、西院村之内五石四斗餘、
 愛宕郡花園村之内七石貳斗餘、千本廻之内拾五石八斗餘、
 紀伊郡吉祥院村之内五拾貳石八斗餘、乙訓郡上久世村〔五才〕
 之内三石三斗餘、鷄冠井村之内五拾石、今里村之内貳百
 六拾九石四斗餘、下海印寺村貳百拾四石八斗餘、金ヶ原村
 六拾石六斗餘、都合千壹石七斗餘事、依當家先判
 之例御知行并山林竹木等、弥不可有相違之状
 如件、

延享四年八月十一日 家重御判

伏見殿

3・6

湊明院様御判物写

山城國葛野郡聚樂廻之内三百拾五石七斗餘、西京村之内
 五石三斗餘、朱雀村之内九斗餘、西院村之内五石四斗餘、〔五才〕
 愛宕郡花園村之内七石貳斗餘、千本廻之内拾五石八斗餘、
 紀伊郡吉祥院村之内五拾貳石八斗餘、乙訓郡上久世村
 之内三石三斗餘、鷄冠井村之内五拾石、今里村之内貳百六拾
 九石四斗餘、下海印寺村貳百拾四石八斗餘、金ヶ原村六拾石
 六斗餘、都合千壹石七斗餘事、依當家先判之例御知行并
 山林竹木等、弥不可有相違之状如件、

實曆十二年八月十一日 家治御判

伏見殿

3・7

伏見殿御知行所村割付

- 一 三百拾五石七斗餘 山城國葛野郡
聚樂廻之内
- 一 五石三斗餘 同
西京村之内
- 一 九斗餘 同
朱雀村之内

〔二六才〕

一 五石四斗餘

西院村之内

一 七石貳斗餘

同國愛宕郡
花園村之内

一 拾五石八斗餘

同
千本廻之内

一 五拾貳石八斗餘

同國紀伊郡
吉祥院村之内

一 三石三斗餘

同國乙訓郡
上久世村之内

一 五拾石

同
鷄冠井村之内

一 貳百六拾九石四斗餘

同
今里村之内

一 貳百拾四石八斗餘

同
下海印寺村

一 六拾石六斗餘

同
金ヶ原村

合千壹石七斗餘

御判物之表也、

二六〇

天明七未年四月

伏見宮御内
小川圖書頭

中山前大納言様

萬里小路前大納言様

御雜掌中

3・8

口上覺

御代々御判物ニ、山林竹木等不可有相違与御座候
得共、右之山林竹木御支配無之候ニ付、御判物
御改之度御願被成候処、重而御次手も可有之候間、其
節被仰達候様ニ与之御事ニ御座候、依之今度も御願
被成候、何卒被任、御判物之表御支配被成候様、
願思召候、右山林竹木有之一式之所、下海印寺村・金ヶ原村
ニ而御座候、右之趣可然御沙汰頼思召候以上、

四月

伏見宮御内
小川圖書頭

中山前大納言様

萬里小路前大納言様

御雜掌中

3・9

覺

資 料

台徳院様 御判物
 厳有院様 御判物
 常憲院様 御判物
 有徳院様 御判物
 淳信院様 御判物
 俊明院様 御判物

右六通ニ而御座候以上

四月

伏見宮御内

小川圖書頭

二七〇

二八〇

二八〇

4 京極殿

4・1

台徳院様御判物寫

目録

- 一 九百六拾七石三斗餘
- 一 千百拾貳石五斗餘
- 一 參百拾壹石五斗餘

山城國

川勝寺村

同

下桂村

同

徳大寺村

二九〇

二九〇

八条殿

4・2

厳有院様御判物寫

山城國葛野郡川勝寺村九百六拾七石三斗餘、下桂村、
 千百拾貳石五斗餘、徳大寺村三百拾壹石五斗餘、夙村五石、
 御陵村百六拾三石餘、乙訓郡開田村四百四拾七石貳斗餘、
 都合三千六石六斗餘事、全可有御知行并山林竹木
 河物成渡船等、任元和三年九月十一日先判之旨、弥
 不可有相違之状、如件、

一 五石 徳大寺村之内
 夙村
 同 御陵村
 同
 一 四百四拾七石貳斗餘 開田村
 合參千六石六斗餘
 此外山林竹木河之物成渡船等有之、
 右、如先之可有全御知行之状如件、

元和三年九月十一日 御名乗御書判

二〇三

寛文八年四月十四日 御名乗御書判 二〇〇

八条 殿

4・3

常憲院様御判物寫

山城國葛野郡川勝寺村九百六拾七石三斗餘、下桂村
千百拾貳石五斗餘、徳大寺村三百拾壹石五斗餘、夙村
五石、御陵村百六拾三石餘、乙訓郡開田村之内四百四拾
七石貳斗餘、都合參千六石六斗餘事、全可有御知行
并山林竹木河物成渡船等、任元和三年九月十一日
寛文八年四月十四日蒙先判之旨、弥不可有相違之状、
如件、

貞享二年六月十一日 御名乗御書判 二二〇

八条 殿

4・4

有徳院様御判物寫

山城國葛野郡川勝寺村九百六拾七石三斗餘、
下桂村千百拾貳石五斗餘、徳大寺村三百拾壹石五斗
餘、夙村五石、御陵村百六拾三石餘、乙訓郡開田村之内
四百四拾七石貳斗餘、都合三千六石六斗餘事、依當家

先判之例御知行并山林竹木河物成渡船等、弥不
可有相違之状、如件、

享保四年五月廿一日 御名乗御書判 二二〇

京極 殿

4・5

惇信院様御判物寫

山城國葛野郡川勝寺村九百六拾七石三斗餘、
下桂村千百拾貳石五斗餘、徳大寺村三百拾壹石五斗餘、
夙村五石、御陵村百六拾三石餘、乙訓郡開田村之内四百
四拾七石貳斗餘、都合三千六石六斗餘事、依當家先判
之例、御知行并山林竹木河物成渡船等、弥不可有
相違之状、如件、

延享四年八月十一日 御名乗御書判 二二〇

京極 殿

4・6

凌明院様御判物寫

山城國葛野郡川勝寺村九百六拾七石三斗餘、

下桂村千百拾式石五斗餘、徳大寺村三百拾壹石五斗餘、
夙村五石、御陵村百六拾三石餘、乙訓郡開田村之内
四百四拾七石式斗餘、都合三千六石六斗餘事、依當家
先判之例、御知行并山林竹木河物成渡船等、弥
不可有相違之状、如件、

宝曆十二年八月十一日 御名乘御書判

二三乙

京 極 殿

4 : 7

御 知 行

山城國葛野郡

一 九百六拾七石三斗餘

川勝寺村

同國同郡

一 千百拾式石五斗餘

下桂村

同國同郡

一 三百拾壹石五斗餘

徳大寺村

徳大寺村之内

一 五石

夙村

同國同郡

一 百六拾三石餘

御陵村

同國同郡

一 四百四拾七石式斗餘 開田村
合三千六石六斗餘
此外、山林竹木河物成渡船運上等有之、
右之通御座候以上、

二三乙

京極殿御内

尾崎玄蕃頭

四 月

生鳴雅楽頭

中山前大納言様

万里小路前大納言様

雑掌御衆中

4 : 8

秀忠公

御判物寫

家綱公

御判物寫

綱吉公

御判物寫

吉宗公

御判物寫

家重公

御判物寫

家治公

御判物寫

右六通

二三乙

一 權現様 覺

一 權現様

一 大猷院様

右兩御代御判物無御座候、 参考候處、 如何之儀

御座候哉、 相知不申候、

一 開田村之儀

敝有院様御判物ニ開田村与有之候、 如何之儀

御座候哉、 相知不申候、 以上、

二四才

四月

京極殿御内

尾崎玄蕃頭

生嶋雅楽頭

中山前大納言様

万里小路前大納言様

雜掌御衆中

二四才

5 仁和寺宮

二五才

二五才

5・1

台徳院様御判物写

目録

一 七百四拾石

竹田村之内

一 貳百參拾八石九斗

福王寺村

一 五拾貳石六斗餘

鳴瀧村之内

一 參拾壹石八斗餘

梅畑村之内

一 六拾石八斗餘

谷村

一 六拾六石五斗

常盤村

一 貳拾九石三斗餘

窪村

一 百五拾貳石八斗

中野村

一 三拾三石貳斗

河端村之内

一 貳拾四石九斗餘

等持院

一 六拾石三斗

西京之内

一 拾石九斗

池上村

都合千五百貳石參斗餘

二六才

右如先之可有御知行之状如件、

元和三年九月七日 御名乘御判

仁和寺殿

5・2

敝有院様御判物写

山城國紀伊郡竹田村之内七百四拾石、 葛野郡福王寺、

鳴瀧・梅畑・谷村・常盤・窪村・中野・河端・等持院・西京・

池上、 十七箇村内七百六拾貳石三斗餘、 都合千五百貳

石三斗餘事、 任元和三年九月七日先判之旨、 全可有

二六才

御知行并門前境内山林竹木等、 如前々永不可有

相違之状如件、

寛文五年九月廿一日 御名乘御判

仁和寺殿

5・3

常憲院様御判物寫

山城國紀伊郡竹田村之内七百四拾石、葛野郡

福王寺・鳴瀧・梅畑・谷村・常盤・窪村・中野・河端・等持

院・西京・池上、拾壹箇村之内、七百六拾式石三斗餘、都合

千五百式石三斗餘事、任元和三年九月七日、寛文

五年九月廿一日両先判之旨、全可有御知行并門前

境内山林竹木等、如前々永不可有相違之状如件、

(二七才)

貞享二年六月十一日 御名乘御判

仁和寺殿

5・4

有徳院様御判物寫

山城國紀伊郡竹田村之内七百四拾石、葛野郡

福王寺・鳴瀧・梅畑・谷村・常盤・窪村・中野・河端・等持

院・西京・池上、拾壹箇村之内、七百六拾式石三斗餘、都合
千五百式石三斗餘事、依當家先判之例御知行并
門前境内山林竹木等、永不可有相違之状如件、

(二七才)

享保四年五月廿一日 御名乘御判

仁和寺殿

5・5

惇信院様御判物寫

山城國紀伊郡竹田村之内七百四拾石四斗餘、葛野郡

福王寺・鳴瀧・梅畑・谷村・常盤・窪村・中野・河端・等

持院・西京・池上、拾壹箇村之内、七百六拾壹石六斗

餘、都合千五百式石三斗餘事、依當家先判之例

御知行并門前境内山林竹木等、永不可有

相違之状如件、

(二八才)

延享五年三月廿一日 御名乘御判

仁和寺殿

5・6

浚明院様御判物寫

5・7

山城國紀伊郡竹田村之内七百四拾石四斗餘、葛野郡
福王寺・鳴瀧・梅畑・谷村・常盤・窪村・中野・河端・等持院・
西京・池上、拾壹箇村之内、七百六拾壹石六斗餘、都合
千五百貳石三斗餘事、依當家先判之例御知行并
門前境内山林竹木等、永不可有相違之状如件、

宝曆十二年八月十一日 御名乗御判

二八〇

仁和寺殿

仁和寺御寺領村割

高千五百貳石三斗餘
内

七百四拾石四斗餘

山城國紀伊郡
竹田村之内

貳百三拾八石九斗

同葛野郡
福王寺村

五拾貳石六斗餘

同
鳴瀧村之内

三拾壹石八斗餘

同
梅畑村之内

5・8

六拾八石餘

〔石八斗〕

同
谷村

二九〇

六拾六石五斗

同
常盤村

貳拾九石三斗

同
窪村

百五拾貳石八斗

同
中野村

三拾三石貳斗

同
河端村之内

貳拾四石九斗餘

同
等持院門前

六拾石三斗

同
西京之内

拾石九斗

同
池上村

右之通御座候以上、
四月十四日

覚

台徳院様
殿有院様

二九〇

資 料

常憲院様

有徳院様

惇信院様

浚明院様

右御判物写合六通并村割書付一通

ヲ差出候事、

権現様

大猷院様

文昭院様

有章院様

右御判物者前々より無御座候事、

四月十四日

御室御所御内

長尾宮内卿

三〇才

三〇才

6 青蓮院宮

三三才

三二才

台徳院様

6・1

山城國粟田口村式百拾石、同上々野村之内百貳拾

式石五斗、大和國百濟村式百石、都合五百三拾貳石

五斗事、如先々可有全御知行之状如件、

元和三年九月十一日 御名乘御書判

青蓮院殿

6・2

嚴有院様

山城國愛宕郡粟田口村式百七拾三石六斗餘、

岡崎村之内拾壹石五斗餘、紀伊郡東九條村

之内拾八石三斗餘、葛野郡壬生村之内四石

三石貳斗、中道寺村之内三石貳斗餘、乙訓郡上植

野村之内百貳拾貳石五斗、大和國廣瀨郡百濟

村之内貳百石、平群郡菅田村之内三百石、都合

千三百三拾貳石五斗、此内五百三拾貳石五斗者、所

載于元和三年九月十一日先判之舊領也、殘

八百石、寛永・慶安年中被新加之訖、全可有

御知行并門前境内山林竹木等、如前々

永不可有相違之状如件、

寛文五年九月廿一日 御名乘御書判

青蓮院殿

三三才

6・3

常憲院様

山城國愛宕郡粟田口村之内貳百七拾三石六斗餘、
岡崎村之内拾石六斗餘、 田中村之内九斗餘、 紀
伊郡東九條村之内拾八石三斗餘、 葛野郡壬
生村之内四百三石貳斗、 中道寺村之内三石貳斗
余、 乙訓郡上植野村之内百貳拾貳石五斗、 大和
國廣瀨郡百濟村之内貳百石、 平群郡菅田
村之内三百石、 都合千三百三拾貳石五斗事、 如
先規全可有御知行、 并門前境内山林竹
木等、 永不可有相違之状如件、

貞享二年六月十一日 御名乘御書判

二三才

青蓮院殿

6・4
有徳院様

山城國愛宕郡粟田口村之内貳百壹石七斗餘、
岡崎村之内拾石壹斗餘、 田中村之内九斗餘、 千
本廻り之内五拾九石貳斗餘、 鹿谷村之内拾貳石
貳斗餘、 浄土寺村之内壹石八斗餘、 紀伊郡東
九條村之内拾八石三斗餘、 葛野郡壬生村
之内四百貳石壹斗餘、 中堂寺村之内三石貳斗餘、

乙訓郡上植野村之内百貳拾貳石五斗、 大和國
廣瀨郡百濟村之内貳百石、 平群郡菅田村
之内三百石、 都合千三百三拾貳石五斗事、 依
當家先判之例、 御知行并門前境内山林竹
木等、 永不可有相違之状如件、

享保四年五月十一日 御名乘御書判

三三才

青蓮院殿

6・5

惇信院様

山城國愛宕郡粟田口村之内百九拾三石六斗
餘、 岡崎村之内拾石壹斗餘、 田中村之内九斗餘
千本廻之内五拾九石貳斗餘、 鹿谷村之内拾
貳石貳斗餘、 浄土寺村之内壹石八斗餘、 紀伊郡
東九條村之内拾八石三斗餘、 葛野郡壬生
村之内四百貳石壹斗餘、 中堂寺村之内三石
貳斗餘、 乙訓郡上植野村之内百貳拾貳石五斗、
宇治郡山科郷厨子奥山之内八石餘、 大和國
廣瀨郡百濟村之内貳百石、 平群郡菅田
村之内三百石、 都合千三百三拾貳石五斗事、
依當家先判之例、 御知行并門前境内

三四才

料

山林竹木等、永不可相違^五之状如件、

資

寛延元年十一月十一日 御名乗御書判

青蓮院殿

6・6
浚明院様

山城國愛宕郡栗田口村之内百九拾三石
六斗餘、岡崎村之内拾石壹斗餘、田中村之内九斗餘、千本廻之内
五拾九石貳斗餘、鹿谷村之内拾貳石貳斗餘、浄土寺村之内壹石
八斗餘、紀伊郡東九條村之内拾八石三斗餘、葛野郡
壬生村之内四百貳石壹斗餘、中堂寺村之内三石貳斗餘、乙
訓郡上植野村之内百貳拾貳石五斗、宇治郡山科郷厨子奥山
之内八石餘、大和國廣瀬郡百濟村之内貳百石、平群郡菅田
村之内三百石、都合千三百三拾貳石五斗事、依當家先判之
例、御知行并門前境内山林竹木等、永不可有相違之状如件、

宝曆十二年八月十一日 御名乗御書判

青蓮院殿

三三才

6・7

青蓮院御門跡御門領村割

- 一 高百九拾三石六斗七升八合三夕貳才
山城國愛宕郡 栗田口村之内
同國同郡
- 一 高拾石壹斗七升九合三夕
岡崎村之内
同國同郡
- 一 高九斗貳升
田中村之内
同國同郡
- 一 高五拾九石貳斗五升八合六夕一才
千本廻之内
同國同郡
- 一 高拾貳石貳斗八升九合八夕四才
鹿谷村之内
同國同郡
- 一 高壹石八斗五升壹合七夕五才
浄土寺村之内
同國同郡
- 一 高八石五升壹夕八才
同國宇治郡 山科郷厨子奥山之内
同國紀伊郡 東九條村之内
同國葛野郡 壬生村之内
同國同郡
- 一 高四百貳石壹斗七升貳合
同國同郡
- 一 高三石貳斗五升三合
同國乙訓郡 中堂寺村之内
同國同郡

一 高百貳拾貳石五斗

上植野村之内

一 高貳百石

大和国廣瀬郡

百濟村之内

一 高三百石

同国平群郡

菅田村之内

右之通御座候、

都合千三百三拾貳石五斗

青蓮院宮御内

四月十一日

大谷治部卿印

中山前大納言様御内

雑掌御中

万里小路前大納言様御内

雑掌御中

三六才

6・8

覺

台徳院様

敝有院様

常憲院様

有徳院様

惇信院様

浚明院様

7

一 乘院宮

右御六代御判物之写六通被差出之候、

東照権現様

大猷院様

文昭院様

有章院様

右御四代御判物無御座候、子細相知不申候、

青蓮院宮御内

四月十一日

大谷治部卿

中山前大納言様御内

雑掌御中

万里小路前大納言様御内

雑掌御中

三七才

三七才

7・1

権現様御判物

興福寺領壹万五千石之内五千石之儀

付而、衆僧中申分遂糺明畢、如先規五

師衆可被仰付候、其内千石者寺社之

修理、千石者學問仕僧侶可有扶助

三六才

三八才

三八才

候、諸式寺社法度之儀嚴重可被
仰付候也、

慶長五年十一月十六日 御判

權現様

一 乘 院 殿

7・2

大猷院様御判物

當院領大和國添上郡西九條之内七百

四拾六石式斗餘、井戸野之内六百四拾八

石餘、市本之内九拾七石六斗餘、都合千

四百九拾貳石事、任去元和三年九月

十一日先判之旨、永寺納不可有相違

之状如件、

寛永十年四月十八日 家光 御判

一 乘 院 殿

7・3

嚴有院様御判物

大和國添上郡西九條之内七百四拾六石

三九之

貳斗餘、井戸野村内六百四拾八石餘、市本村
之内九拾七石六斗余、都合千四百九拾式石
事、如先規全御知行永不可有相違
之状如件、

寛文五年九月廿一日 家綱 御判

一 乘 院 殿

7・4

嚴有院様御朱印

興福寺領之内、千石者、僧侶学問之扶

助領也、任先規弥不可有相違、其

外諸式寺社法度之儀、如有来可

被沙汰之状如件、

寛文五年十一月三日 御朱印

一 乘 院 殿

7・5

常憲院様御判物

大和國添上郡西九條村之内七百四拾

四〇之

六石貳斗余、井戸野村之内六百四拾八石
余、市本村之内九拾七石六斗余、都合
千四百九拾貳石事、如先規全御知行
永不可有相違之状如件、

〔四〇乙〕

貞享二年六月十一日 綱吉御判

一 乘 院 殿

7・6

常憲院様御朱印

興福寺領之内、千石者、僧侶学問之
扶助領也、任寛文五年十一月三日先
判之旨、弥不可有相違、其外諸式
寺社法度之儀、如有来可被沙汰
之状如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

〔四一乙〕

一 乘 院 殿

7・7

有徳院様御判物

大和國添上郡西九條村之内七百四拾六石
貳斗餘、井戸野村之内六百四拾八石餘、市本
村之内九拾七石六斗餘、都合千四百九
拾貳石事、依當家先判之例御知行
永不可有相違之状如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判

一 乘 院 殿

〔四一乙〕

7・8

有徳院様御朱印

興福寺領之内、千石者、僧侶学問之扶助領
也、寺務當職方より可被沙汰之、其外諸
式寺社法度之儀、如有来、弥不可有相違之
状如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

一 乘 院 殿

7・9

惇信院様御判物

大和國添上郡西九條村之内七百四拾六石貳斗餘、井戸野村之内六百四拾八石餘、市本村之内九拾七石六斗餘、都合千四百九拾貳石事、依當家先判〔四三才〕之例御知行永不可有相違之状如件、

延享四年八月十一日 家重 御判

一 乘 院

7・10

惇信院様御朱印

興福寺領之内、千石者、僧侶学問之扶助領也、寺務當職方より可被沙汰之、其外諸式寺社法度之儀、依當家先判之例、弥不可有相違之状如件、

〔四三才〕

延享四年八月十一日 御朱印

一 乘 院 殿

7・11

湊明院様御判物

大和國添上郡西九條村七百四拾六石貳斗餘、

井戸野村六百四拾八石餘、市本村之内九拾七石六斗餘、都合千四百九拾貳石事、依當家先判之例御知行永不可有相違之状如件、

寶曆十二年八月十一日 家治 御判

一 乘 院 殿

7・12

湊明院様御朱印

興福寺領之内、千石者、僧侶学問之扶助領也、寺務當職方より可被沙汰之、其外諸式寺社法度之儀、依當家先判之例、弥不可有相違之状如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

一 乘 院 殿

7・13

御本領之事

和州添上郡

一 高七百四拾六石貳斗六升八合 西九條村

〔四三才〕

〔四三才〕

7・14

和州添上郡

一 高六百四拾八石七斗六升三合 井戸野村

和州添上郡

一 高九拾七石六斗七升

櫛本村

合千四百九拾式石七斗余也、

右之通御座候以上、

一 乘院宮御内

未四月

浅岡左兵衛少尉

口上之覺

一 乘院御門跡御寺領 御朱印之儀

權現様 台徳院様 大猷院様

御三代之御判物御朱印何茂焼失仕候

其誤者前御門主三菩提院宮御幼年之

節

後水尾院様御文庫江被為預置候處、寛

文元辛丑年御所方炎上之節、焼失仕候、

此段 蔽有院様御代 御朱印御改之節、

御断被仰上、御判物御朱印御両通如先

規被為成進候、御代々 御判物

御朱印御両通被為成進候、此度

蔽有院様 常憲院様 有徳院様

〔四四才〕

惇信院様 澄明院様 御判物御朱印

之間被差出之候、

權現様寺社法度之 御判物之寫

大猷院様御寺領 御判物之写御留

御座候二付、前々 御朱印御改之節、被差

出候通、此度御写被差出候御事、

〔四四才〕

一 乘院宮御内

未四月

浅岡左兵衛少尉

〔四五才〕

8 妙法院宮

〔四六才〕

8・1

東照宮様御判物

知行之目錄

山城國愛宕郡

一 九拾五石

鹿谷

一 九拾三石式斗九升

同 大原

一 三百式拾六石八斗

同 大仏廻柳原共

一 式百石四斗

葛野郡

牛ヶ瀬

一 式百石四斗

牛ヶ瀬

料 一 三百式拾八石八斗 同 朝原

資 一 五百八拾九石式斗八升 乙訓郡 寺戸

都合千六百三拾三石五斗
右、全可有院納、并門前境内山林竹木
諸役等、令免除之状、如件、

元和元年 七月廿七日 御判

〔四七五〕

妙法院

8・2

台徳院様御判物

目録

一 九拾五石 山城國愛宕郡 鹿谷

一 九拾三石式斗餘 同 大原

一 三百式拾石六斗八升 同 大仏廻柳原共

一 式百石四斗 葛野郡 牛ヶ瀬

同

一 三百式拾八石八斗 同 朝原

一 五百八拾九石式斗餘 乙訓郡 寺戸

都合千六百三拾三石五斗
右、任先判之旨、可有全御知行、并門前
境内山林竹木諸役等事、弥不可有
相違之状、如件、

元和三年九月七日 秀忠御判

〔四七五〕

妙法院殿

8・3

嚴有院様御判物

山城國愛宕郡鹿谷・大原・大佛廻同柳原
此三ヶ所五百拾五石餘、葛野郡牛ヶ瀬・
朝原兩村之内五百式拾九石式斗、乙訓
郡寺戸村之内五百八拾九石式斗餘、都合

〔四八五〕

千六百三拾三石五斗事、任元和元年七
月廿七日・同三年九月七日兩先判之旨、全
可有御知行、并門前境内山林竹木諸
役等事、如前々、永不可有相違之状、如件、

寛文五年九月廿一日 家綱御判

妙法院殿

8・4
常憲院様御判物

山城國愛宕郡鹿谷・大原・大佛廻柳原

〔四八之〕

共三箇所五百拾五石餘、葛野郡牛箇瀬・朝原

兩村之内五百貳拾九石貳斗、乙訓郡寺戸村

之内五百八拾九石貳斗餘、都合千六百三拾

三石五斗事、任元和元年七月廿七日・

同三年九月七日・寛文五年九月

廿一日先判之旨、全可有御知行、

并門前境内山林竹木諸役

等事、如前夕、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判

妙法院殿

8・5
有徳院様御判物

山城國愛宕郡鹿谷・大原・大佛廻柳原共

〔四九之〕

三箇所四百三石壹斗餘、葛野郡牛ヶ瀬・

朝原兩村之内五百貳拾九石二斗、東塩小路村

之内百拾壹石八斗餘、乙訓郡寺戸村之内五百

八拾九石二斗餘、都合千六百三拾三石五斗事、

依當家先判之例、御知行并門前境内

山林竹木諸役等、永不可有相違之状、如

件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判

妙法院殿

〔四九之〕

8・6

惇信院様御判物

山城國愛宕郡鹿谷・大原・大佛廻柳原共三箇

所四百三石壹斗餘、葛野郡牛箇瀬・朝原兩村之内

五百貳拾九石貳斗、東塩小路村之内百拾壹石八斗

餘、乙訓郡寺戸村之内五百八拾九石貳斗餘、都合千

六百三拾三石五斗事、依當家先判之例、御知行

并門前境内山林竹木諸役等、永不可有相違

之状、如件、

延享四年八月十一日 家重御判

妙法院殿

〔五〇才〕

8・7

湊明院様

山城國愛宕郡鹿谷・大原・大佛廻柳原共三箇所
 四百三石壹斗餘、葛野郡牛箇瀬・朝原両村之内
 五百貳拾九石貳斗、東塩小路村之内百拾壹石八斗
 餘、乙訓郡寺戸村之内五百八拾九石貳斗餘、都合千
 六百三拾三石五斗事、依當家先判之例、御知行
 并門前境内山林竹木諸役等、永不可有相違
 之状、如件、

寶曆十二年八月十一日 家治御判

妙法院殿

〔五〇才〕

9

妙法院宮御持
蓮華王院

〔五一才〕

9・1

東照宮様御黒印

山城國青巖寺之内八石四斗、谷山田之内
 貳石五斗、都合拾石九斗之事、全可取納者也、

仍如件、

元和元年七月廿七日 御黒印

三十三間

9・2

台徳院様御朱印

山城國清閑寺之内八石四斗、谷山田之内
 貳石五斗、都合拾石九斗之事、任去元和元
 年七月廿七日先判之旨、弥寺納不可有
 相違者也、

〔五三才〕

元和三年七月廿一日 御朱印

三十三間

蓮華王院

9・3

嚴有院様御朱印

山城國愛宕郡清閑寺村之内八石四斗、谷
 山田村之内貳石五斗、合拾石九斗事、任元和
 元年七月廿七日、同三年七月廿一日両先判之旨、

三十三間堂蓮華王院全收納、永不可有相違者也、

〔五三乙〕

寛文五年九月廿一日

御朱印

9・4

常憲院様御朱印

山城國愛宕郡清閑寺村之内八石四斗、谷山

田村之内式石五斗、合拾石九斗事、任元和元年

七月廿七日・同三年七月廿一日・寛文五年九月廿一日

先判之旨、三十三間堂蓮華王院全收納、永

不可有相違者也、

貞享二年六月十一日

御朱印

〔五三才〕

9・5

有徳院様御朱印

山城國愛宕郡清閑寺村之内八石四斗、葛野

郡谷山田村之内式石五斗、合拾石九斗事、依當

家先判之例、三十三間堂蓮華王院收納、永

不可有相違者也、

享保四年五月廿一日

御朱印

9・6

惇信院様御朱印

山城國愛宕郡清閑寺村之内八石四斗、葛野

郡谷山田村之内式石五斗、合拾石九斗事、依當

家先判之例、三十三間堂蓮華王院收納、永

〔五三乙〕

不可有相違者也、

延享四年八月十一日

御朱印

9・7

浚明院様

山城國愛宕郡清閑寺村之内八石四斗、葛野

郡谷山田村之内式石五斗、合拾石九斗事、依當家

先判之例、三十三間堂蓮華王院收納、永不可

有相違者也、

寶曆十二年八月十一日

御朱印

〔五四才〕

妙法院宮御知行所村割

一 高九拾五石

山城國愛宕郡
鹿谷

一 高九拾三石式斗九升

同
大原

一 高貳百拾四石九斗四升

同
大仏廻り柳原共

一 高百拾壹石八斗六升

山城國葛野郡
東塩小路村之内

一 高貳百石四斗

同
牛箇瀬村

一 高三百貳拾八石八斗

同
朝原村之内

一 高五百八拾九石式斗八升

山城國乙訓郡
寺戸村之内

都合千六百三拾三石五斗七升

〔五四之〕

9・9

妙法院宮御抱

蓮華王院領村割

一 高八石四斗

山城國愛宕郡
清閑寺村之内

一 高貳石五斗

同葛野郡
谷山田村之内

都合拾石九斗

右之通二御座候、以上、

四月

妙法院宮御内
松井相模守印

中山前大納言様

雜掌御中

万里小路前大納言様

雜掌御中

9・10

覺

大猷院様
右御判物、如何程之子細三候哉、無御座候、尤

前々より致吟味候得共、難相知候、

文昭院様 有章院様
右御二代御判物無御座候、以上、

四月

妙法院宮御内
松井相模守印

中山前大納言様

〔五五之〕

雜掌御中

万里小路前大納言様

雜掌御中

10 聖護院宮

〔五七才〕
〔五七才〕

10 殿有院様御判物

山城國愛宕郡聖護院村四百三拾八石、長谷

村四百七拾六石壹斗餘、白川村內百拾六石餘、乙訓

郡上植野村內貳百三拾三石九斗餘、紀伊郡吉

祥院村之內拾九石三斗、近江國滋賀郡藤尾

村內百貳拾石、都合千四百三石四斗餘事、全可有

御知行并山林竹木等、如先規、永不可有相

違之狀、如件、

寛文五年十一月三日 家綱御判

聖護院殿

〔五八才〕

10 2

常憲院様御判物

山城國愛宕郡聖護院村四百貳拾三石四斗餘、

長谷村之內四百七拾六石壹斗餘、白川村之內

百拾六石餘、田中村之內拾四石五斗餘、乙訓郡上

植野村之內貳百三拾三石九斗餘、紀伊郡吉祥院

村之內拾九石三斗、近江國滋賀郡藤尾村之內

百貳拾石、都合千四百三石四斗餘事、全可有御知

行并山林竹木等、如先規、永不可有相違之狀、

如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判

聖護院殿

〔五八才〕

10 3

倅信院様御判物

山城國愛宕郡聖護院村四百貳拾三石四斗餘、長

谷村之內四百七拾六石壹斗餘、白川村之內百拾六石

餘、田中村之內拾四石五斗餘、乙訓郡上植野村之內

貳百三拾三石九斗餘、紀伊郡吉祥院村之內拾

九石三斗、近江國滋賀郡藤尾村之內百貳拾石、

都合千四百三石四斗餘事、依當家先判之例、

御知行并山林竹木等、永不可有相違之狀、如件、

延享四年八月十一日 家重御判

聖護院殿

〔五九乙〕

10・4

凌明院様御判物

山城國愛宕郡聖護院村四百貳拾三石四斗餘、

長谷村之内四百七拾六石壹斗餘、白川村之内

百拾六石余、田中村之内拾四石五斗餘、乙訓郡上

植野村之内貳百三拾三石九斗餘、紀伊郡吉祥院

村之内拾九石三斗、近江國滋賀郡藤尾村之内

百貳拾石、都合千四百三石四斗餘事、依當家先

判之例、御知行并山林竹木等、永不可有相違

之状、如件、

寶曆十二年八月十一日 家治御判

聖護院殿

〔五九乙〕

11

聖護院宮御兼帶

照高院宮

〔六〇才〕

〔六〇乙〕

11・1

嚴有院様御判物

山城國愛宕郡白川村之内千石事、全可有

御知行并山林竹木等、如先規、永不可有相違

之状、如件、

寛文五年十一月三日 家綱御判

照高院殿

11・2

凌明院様御判物

山城國愛宕郡白川村之内千石事、依當家

先判之例、可有御知行、并山林竹木等、永不可

有相違之状、如件、

〔六一才〕

寶曆十二年八月十一日 家治御判

照高院殿

〔六一乙〕

12

聖護院宮院家

華臺院

〔六一才〕

〔六一乙〕

12・1

嚴有院様御朱印

山城國葛野郡北山松原村之内壹石六斗餘
事、如前夕、花臺院全收納、永不可有相違者也、

寛文五年十一月三日
御朱印

12・2

常憲院様御朱印

山城國葛野郡北山松原村之内壹石六斗餘事、
任寛文五年十一月三日先判之旨、花臺院全収
納、永不可有相違者也、

貞享二年六月十一日
御朱印

〔六三才〕

12・3

惇信院様御朱印

山城國葛野郡北山松原村之内壹石六斗餘事、
依當家先判之例、華臺院收納、永不可有
相違者也、

延享四年八月十一日
御朱印

12・4
淺明院様御朱印

山城國葛野郡北山松原村之内壹石六斗餘
事、依當家先判之例、華臺院收納、永不可
有相違者也、

宝曆十二年八月十一日
御朱印

〔六四才〕
〔六四ウ〕

13
聖護院宮院家
積善院

13・1

台徳院様御朱印

山城國上植野村之内貳拾石事、如前夕、院納、不
可有相違之状、如件、

元和三年九月七日 御朱印

積善院

13・2

資料

大猷院様御朱印

當院領山城國上植野村之内式拾石事、任元和

三年九月七日先判之旨、永不可有相違之状、

如件、

寛永十三年十一月九日 御朱印

〔六六才〕

積善院

13・3

嚴有院様御朱印

當院領山城國乙訓郡上植野村之内式拾石事、

任元和三年九月七日・寛永十三年十一月九日兩

先判旨、全收納、永不可有相違者也、仍如件、

寛文五年十一月三日 御朱印

積善院

〔六六才〕

13・4

常憲院様御朱印

當院領山城國乙訓郡上植野村之内式拾石事、

任元和三年九月七日・寛永十三年十一月

九日・寛文五年十一月三日先判之旨、全收納、

永不可有相違者也、仍如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

積善院

13・5

惇信院様御朱印

當院領山城國乙訓郡上植野村之内

式拾石事、依當家先判之例、收納、永不可

有相違之状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

積善院

13・6

凌明院様御朱印

當院領山城國乙訓郡上植野村之内式拾石

事、依當家先判之例、收納、永不可有相違

之状、如件、

宝曆十二年八月十一日 御朱印

〔六七才〕

積善院

10・5 (13・7、12・5)

覺

一 聖護院宮御寺領 御判物寫

嚴有院樣

常憲院樣

惇信院樣

浚明院樣

右、御判物寫、都合四通、

一 聖護院宮院家積善院寺領 御判物寫

台徳院樣

大猷院樣

嚴有院樣

常憲院樣

惇信院樣

浚明院樣

右、御朱印、都合六通、

一 聖護院宮院家華臺院寺領 御朱印寫

嚴有院樣

常憲院樣

惇信院樣

浚明院樣

〔六八才〕

右、御朱印、都合四通、

右、都合拾六通寫、此度被差出候、以上、〔六八才〕

聖護院宮御内

天明七年四月 藤本式部卿印

中山前大納言樣

万里小路前大納言樣

御雜掌中

10・6 (13・8、12・6)

御口上覺

今度 御判物、御朱印、如先規可被進旨

被 仰出候ニ付、御代々 御判物

御朱印之寫并村割書被差出候間、宜

御沙汰頼思召候御事、

一 當御所院家積善院寺領

御朱印 御代々之寫并村書御差出被

遊候、尤當時無住ニ御座候得者、右積

善院儀者御拘之室ニ御座候ニ付、先々より

御朱印御改之節、御門主江一緒ニ被

仰請候御事ニ而御座候間、此度茂先

格之通、御門主江一緒ニ被 仰請度思

〔六九才〕

一 召候、此段宜御沙汰頼思召候御事、
當御所院家華臺院寺領 御朱印

御代々之寫并村書御差出被遊候、尤當時
無住ニ御座候得者、右華臺院者御拘
之室ニ御座候ニ付、先々より御朱印御改

之節、御門主江一緒ニ被 仰請候御事ニ御座候
間、此度茂先規之通、御門主江一緒被仰

請度思召候、此等之趣、何分可然様御沙汰〔六九之
頼思召候、以上、

聖護院宮御使
天明七年四月 藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

10・7 (11・3)
御口上覺

今度 御判物 御朱印御改ニ付、御隠居

所照高院宮御寺領 御判物之寫并

村書被差出候、尤當時御兼帯ニ付、聖護〔七〇之

院宮より被差出候、宜御沙汰頼思召候、已上、

聖護院宮御内

天明七年 未 四月 藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

10・8

東照宮様

台徳院様

右、御兩代之 御判物、元和六年

洛中大火之節、上立賣聖護

院殿類焼之砌、焼失仕候、〔七〇之

大猷院様

文昭院様

有章院様

右、御三代之 御判物無御座候、

有徳院様

右、御代聖護院殿御無住故、

御判物不被進候、

右之通ニ御座候、以上、

天明七年未四月

藤本式部卿印

〔七二〇〕

聖護院宮御内

中山前大納言様
万里小路前大納言様

御雜掌中

聖護院宮御寺領村割覺

城州愛宕郡

一 四百式拾三石四斗餘

聖護院村

一 四百七拾六石老斗餘

同

長谷村之内

一 百拾六石餘

同

白川村之内

一 拾四石五斗餘

同

田中村之内

一 貳百三拾三石九斗餘

城州乙訓郡

上植野村之内

〔七二一〕

一 拾九石三斗

城州紀伊郡

吉祥院村之内

江州滋賀郡

一 百式拾石

藤尾村之内

都合千四百三石四斗餘
右之通御座候、以上、

天明七年未四月

藤本式部卿印

聖護院宮御内

中山前大納言様
万里小路前大納言様

御雜掌中

〔七二二〕

照高院宮 御判物覺

東照宮様

台徳院様

右、兩御代 御判物者、元和六年御本

坊聖護院殿三而、焼失仕候、

大猷院様

右、御代者御無住三付、無御座候、

嚴有院様

右、寛文五年 御判物被進候、

常憲院様

文昭院様

有章院様

有徳院様

〔七二三〕

惇信院様

右、御代々御無住三付、無御座候、

浚明院様

右、宝曆十二年 御判物被進候、

右之通御座候、以上、

照高院宮御内

天明七年未 四月

杉本刑部卿印

當時御兼帯三付、聖護院宮より被差出候、以上、

聖護院宮御内

天明七年未 四月

藤本式部卿印

〔七三才〕

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

照高院宮御寺領村附

城州愛宕郡

高千石

右之通御座候、以上、

白河村之内

照高院宮御内

天明七年未 四月

杉本刑部卿印

當時御兼帯三付、聖護院宮より被差出候、以上、

天明七年未 四月

聖護院宮御内

藤本式部卿印

〔七三才〕

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

聖護院宮院家積善院寺領

御朱印之覺

東照宮様

文昭院様

有章院様

有徳院様

右 御代々

御朱印無御座候、已上、

〔七四才〕

聖護院宮御内

天明七年未 四月

藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

聖護院宮院家積善院寺領村書
覺

城州乙訓郡

一 貳拾石

右之通御座候、以上、

上植野村之内

〔七四乙〕

天明七年 未四月

聖護院宮御内
藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

聖護院宮院家華臺院寺領

御朱印之覺

東照宮様

台徳院様

大猷院様

文昭院様

有章院様

有徳院様

右 御代々

〔七五乙〕

御朱印無御座候、以上、

聖護院宮御内

天明七年 未四月

藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

聖護院宮院家華臺院寺領村書

覺

一 老石六斗餘

城州葛野郡北山

松原村之内

右之通御座候、以上、

聖護院宮御内

天明七年 未四月

藤本式部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

〔七五乙〕

〔七六乙〕

〔七六乙〕

料 14 圓満院宮 [七七才]

資 14・1 台徳院様御判物写

山城國吉祥院村内四石、三井寺三井寺領之内式百拾五石、都合式百拾九石事、如前々領掌、不可有相違之状、如件、

元和三年九月七日 秀忠御判

圓満院殿

14・2 敵有院様御判物写

山城國紀伊郡吉祥院村之内四石、三井寺領内於近江國滋賀郡南滋賀村式百拾五石、以上式百拾九石者、所載于元和三年九月七日先判之舊領也、此外、滋賀郡穴太村内式百石、寛永十一年被寄附之訖、都合四百拾九石事、如前々、永不可有相違之状、如件、

寛文五年九月廿一日 家綱御判

圓満院殿

14・3 常憲院様御判物写

山城國紀伊郡吉祥院村之内四石、三井寺領之内近江國滋賀郡南滋賀村之内式百拾五石、穴太村之内式百石、大和國平群郡服部村之内式百石、都合六百拾九石事、如先規、全御知行、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判

圓満院殿

14・4 惇信院様御判物写

山城國紀伊郡吉祥院村之内四石、三井寺領之内近江國滋賀郡南滋賀村之内式百拾五石、穴太村之内式百石、大和國平群郡服部村之内式百石、都合六百拾九石事、依當家先判之例、永不可有相違之状、如件、

延享四年八月十一日 家重御判

圓満院殿

14・5

湊明院様御判物写

山城國紀伊郡吉祥院村之内四石、三井寺領之内近江國滋賀郡南滋賀村之内貳百拾五石、穴太村之内貳百石、大和國平群郡服部村之内貳百石、都合六百拾九石事、依當家先判之例、永不可有相違之状、如件、

寶曆十二年八月十一日 家治御判

圓満院殿

〔七九乙〕

14・6

覺

一 圓満院御門跡御知行村割

高六百拾九石

内

四石

山城國紀伊郡

吉祥院村之内

近江國滋賀郡

貳百拾五石

南志賀村之内

貳百石

貳百石

以上

未四月

圓満院宮御内
古守式部卿

〔八〇乙〕

14・7

覺

一 今度御判物御改三付、御代々御判物写相認可被差出旨被 仰渡、則當門江御寄附之御判物写五通被差出候處、左之通御座候、

台徳院様 元和二年九月七日 御判物一通

敵有院様 寛文五年九月廿一日 御判物一通

常憲院様 貞享二年六月十一日 御判物一通

惇信院様 延享四年八月十一日 御判物一通

湊明院様 宝曆十二年八月十一日御判物一通

右之通御座候、

東照宮様 御判物無御座候、

資料

大猷院様 御判物無御座候、吟味仕候得共、相知不申候、
 文昭院様 御判物御改之御沙汰御座候得共、御判物出不申候、
 有章院様 御判物御改之儀、吟味仕候得共、相見不申候、
 有徳院様 御判物御改之節、當門御無住三付、御判物出不申候、

未四月 圓満院宮御内
 古守式部卿印

〔八二〇〕

15 梶井宮

〔八二一〕
 〔八二二〕

15・1
 台徳院様御判

目録

- 一 式百九拾石 山城國 大原
 - 一 式百參石四斗 同境内分
 - 一 拾石七斗餘 吉祥院村之内
 - 一 百四拾石 上之野村之内
 - 一 參百石 竹田村之内
 - 合七百六拾四石餘
- 此外、大原之内、門前山林竹木諸役等相除之、
 右、如先々、可有全御知行之状、如件、

元和三年九月十一日 秀忠御判 〔八三三〕

梶井殿

15・2
 嚴有院様御判

山城國愛宕郡大原郷之内式百九拾石、同所境内
 式拾三石四斗、紀伊郡竹田村之内三百石、吉祥院村之内
 拾石七斗餘、乙訓郡上植野村之内百四拾石、以上七百
 六拾四石餘者、載于元和三年九月十一日先判之舊領
 也、此外於丹波國桑田郡比賀江村三百石、今度
 令新加之訖、都合千六拾四石餘事、全可有御知行
 并門前山林竹木等、如前々、永不可有相違之
 状、如件、

〔八三三〕

寛文五年九月廿一日 家綱御判

梶井殿

15・3
 常憲院様御判
 山城國愛宕郡大原郷之内二百九拾石、同所境内二拾
 三石四斗、紀伊郡竹田村之内三百石、吉祥院村之内

拾石七斗餘、乙訓郡上植野村之内百四拾石、丹波
国桑田郡比賀江村三百石、都合千六拾四石餘
事、如先規、全可有御知行并門前山林竹
木等、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判 〔八四才〕

梶井殿

15・4
有徳院様御判物

山城國愛宕郡大原郷之内二百九拾石、同所境
内二拾三石四斗、紀伊郡竹田村之内三百石、吉祥
院村之内拾石七斗餘、乙訓郡上植野村之内百四
拾石、丹波国桑田郡比賀江村之内三百石、都合千
六拾四石餘事、依當家先判之例、御知行
并門前山林竹木等、永不可有相違之状、
如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判 〔八四才〕

梶井殿

15・5
惇信院様御判物

山城國愛宕郡大原郷之内二百九拾石、同所境
内二拾三石四斗、紀伊郡竹田村之内三百石、吉
祥院村之内拾石七斗餘、乙訓郡上植野村之内
百四拾石、丹波国桑田郡比賀江村三百
石、都合千六拾四石餘事、依當家先判之
例、御知行并門前山林竹木等、永不可有
相違之状、如件、

延享四年八月十一日 家重御判 〔八五才〕

梶井殿

15・6
浚明院様御判物

山城國愛宕郡大原郷之内二百九拾石、同所境
内二拾三石四斗、紀伊郡竹田村之内三百石、吉祥
院村之内拾石七斗餘、乙訓郡上植野村之内
百四拾石、丹波国桑田郡比賀江村之内三百石、都
合千六拾四石餘事、依當家先判之例、御
知行并門前山林竹木等、永不可有相違
之状、如件、

宝曆十二年八月十一日 家治御判

〔八五乙〕

梶井殿

15・7

覚

台徳院様

厳有院様

常憲院様

有徳院様

惇信院様

浚明院様

右

御六代御判物之写六通被差出候

東照権現様

大猷院様

文昭院様

有章院様

右

御四代三者御判物無御座候、以上、

梶井御門跡御内

竹原三河守

天明七年四月

寺家 宰相

〔八六才〕

鳥居川刑部卿
山本按察使

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

15・8

梶井御門跡御知行高村割書付

高千六拾四石餘

内

九拾三石四斗

山城国愛宕郡北大原
来迎院村之内

百四拾六石六斗

同国同郡同所
勝林院村之内

五拾石

同国同郡同所
大長瀬村之内

式拾三石四斗

同国同郡同所
御境内

三百石

同国紀伊郡
竹田村之内

〔八七才〕

〔八六乙〕

百四拾石

同國乙訓郡

上植野村之内

拾石七斗餘

同國紀伊郡

吉祥院村之内

三百石

丹波国桑田郡

比賀江村之内

右之通三御座候、以上、

梶井御門跡御内

竹原三河守印

天明七 未年四月

寺家 宰相印

鳥居川刑部卿印

山本按察使印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

16 大覺寺御門跡

〔八七乙〕

〔八八乙〕

〔八九乙〕

〔八九乙〕

16・1 權現院様御判物

山城國上嵯峨之内六百拾五石、同地子錢百六

拾石、池裏之内貳百貳拾八石、於吉祥院拾三石

貳斗、合千拾六石貳斗之事、全可被寺納、此外

門前境内山林竹木等寄附之上者、為守護

不入、當知行永代不可有相違也、寺家諸法

度、如先規、從門跡令下知、專寺院之興隆勵

事、散々修練、弥可被抽天下安全之精祈之状、

如件、

慶長十六年四月十六日 御書判

大覺寺殿

〔九〇才〕

16・2

目錄

一 六百拾五石

山城國

上嵯峨

一 百六拾石

同

同所地子分

一 貳百貳拾八石

同

池裏村内

一 拾三石貳斗

同

吉祥院村内

都合千拾六石貳斗

右、可有全御知行并寺門境内山林竹木等

如前々、不可有相違之状、如件、

元和三年九月七日 秀忠御書判

〔九〇乙〕

大覺寺殿

16・3

徹有院様御判物

山城國葛野郡上嵯峨村之内六百拾五石、

同所地子百六拾石、池裏村之内貳百貳拾八石、

紀伊郡吉祥院村之内拾三石貳斗、都合千拾

六石貳斗事、任慶長十六年四月十六日・元和

三年九月七日兩先判之旨、全可有御知行、并

門前境内山林竹木等、如前々、永不可有相違

之状、如件、

寛文五年九月廿一日 家綱御書判

〔九一才〕

大覺寺殿

16・4

常憲院様御判物

山城國葛野郡上嵯峨村之内六百拾五石、同

所地子百六拾石、池裏村之内貳百貳拾八石、紀伊郡吉祥院村之内拾三石貳斗、都合千拾六石貳斗事、任慶長十六年四月十六日・元和三年九月七日・寛文五年九月廿一日先判之旨、全可有御知行、并門前境内山林竹木等、如前々、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御書判

〔九一乙〕

大覺寺殿

16・5

有徳院様御判物

山城國葛野郡上下嵯峨村之内七百三拾八石六

斗餘、上嵯峨村地子分百六拾石、池裏村之内

百四石三斗餘、紀伊郡吉祥院村之内拾三石貳斗、

都合千拾六石貳斗事、依當家先判之例、御知行并門前境内山林竹木等、永不可有相違之状、

如件、

如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御書判

大覺寺殿

〔九二才〕

16・6
惇信院様御判物

山城國葛野郡上下嵯峨村之内七百三拾八石
六斗餘、上嵯峨村地子分百六拾石、池裏村之内
百四石三斗餘、紀伊郡吉祥院村之内拾三石式
斗、都合千拾六石式斗事、并門前境内山林
竹木等、依當家先判之例、永不可有相違之状、
如件、

延享四年八月十一日 家重御書判

大覺寺殿

16・7
浚明院様御判物

山城國葛野郡上下嵯峨村之内七百三拾八石
六斗餘、上嵯峨村地子分百六拾石、池裏村之内
百四石三斗餘、紀伊郡吉祥院村之内拾三石式斗、
都合千拾六石式斗事、并門前境内山林竹木
等、依當家先判之例、永不可有相違之状、如件、

寶曆十二年八月十一日 家治御書判

16・8

覺

大覺寺殿

權現様 御判物寫 一通
台徳院様 御判物寫 一通
嚴有院様 御判物寫 一通
常憲院様 御判物寫 一通
有徳院様 御判物寫 一通
惇信院様 御判物寫 一通
浚明院様 御判物寫 一通

右七通

外二村割高書 一通

未四月

16・9

一 高千拾六石式斗
嵯峨御所御寺領高村割

内

七百三拾八石六斗八升八合

山城國葛野郡之内
上下嵯峨村

〔九三ウ〕

〔九三オ〕

拾貳石貳斗八升四合
同國同郡之内
天龍寺門前

内
同國同郡之内

四石七斗四升六合五夕
小溝村

同國同郡之内

百六拾石
上嵯峨地子分

同國同郡之内

百四石三斗壹升貳合

池裏村

同國同郡之内

拾三石貳斗

吉祥院村

右之通御座候、以上、

〔九四才〕

嵯峨御所御内

天明七年 未 四月

田口備中介

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

〔九四ウ〕

大 乘 院 御 門 跡

〔九五才〕

〔九五ウ〕

17 · 1

権現様 御朱印写

南都大乘院坊官并諸役者屋地子分拾六石
餘、永所令免許也、

慶長七年壬寅八月六日 御朱印

17 · 2

台徳院様 御判物写

當寺領人和國添上郡美濃庄村之内九百

拾四石事、如前夕、全寺納、永不可有相違之状、
如件、

元和三年八月廿四日 秀忠御判

〔九六才〕

大 乘 院 殿

17 · 3

台徳院様 御朱印写

南都大乘院坊官并諸役者屋地子分拾六

石餘事、任去慶長七年八月六日先判之旨、弥
免許不可有相違者也、

元和三年七月廿一日 御朱印

17・4

大猷院様 御判物写

當院領大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石事、任去元和三年八月廿四日先判之旨、永寺納不可有相違之状、如件、

寛永十年四月廿一日 家光御判

〔九六乙〕

大 乘 院 殿

17・5

大猷院様 御朱印写

南都大乘院坊官并諸役者屋地子分拾六石餘事、任去元和三年七月廿一日先判之旨、弥免許不可有相違者也、

寛永十年四月廿一日 御朱印

〔九七乙〕

17・6
嚴有院様 御判物写

大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石事、任去元和三年八月廿四日・寛永十年四月廿一日両先判之旨、永不可有相違之状、如件、

寛文五年十一月三日 家綱御判

大 乘 院 殿

17・7

嚴有院様 御朱印写

大和國添上郡奈良町中所々大乘院坊官并諸役者屋地子分拾六石餘事、任去元和三年七月廿一日・寛永十年四月廿一日両先判之旨、弥不可有相違之状、如件、

〔九七乙〕

寛文五年十一月三日

御朱印

17・8

常憲院様 御判物写

大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石事、任去元和三年八月廿四日・寛永十年四月廿一日・寛文五年十一月三日先判之旨、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御判

〔九八乙〕

大 乘 院 殿

17・9

常憲院様 御朱印写

大和國添上郡奈良町中所々大乘院坊官并

諸役者屋地子分拾六石餘事、任去元和三年七月

廿一日・寛永十年四月廿一日・寛文五年十一月三日

先判之旨、弥不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日

御朱印

17・10

有徳院様 御判物写

大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石事、〔九八ウ〕

依當家先判之例、永不可有相違之状、如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御判

大 乘 院 殿

17・11

有徳院様 御朱印写

大和國添上郡奈良町中所々大乘院坊官并

諸役者屋地子分拾六石餘事、依當家先判

之例、弥不可有相違之状、如件、

享保四年五月廿一日

御朱印

17・12

有徳院様寺社法度 御朱印写

興福寺領之内千石者、僧侶学問之扶助領也、

寺務當職方より可被沙汰之、其外諸式

寺社法度之儀、如有来、弥不可有相違之状、

如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

大 乘 院 殿

17・13

惇信院様 御判物写

大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石事、

依當家先判之例、永不可有相違之状、如件、

延享四年八月十一日 家重御判

〔九九ウ〕

大 乘 院 殿

17・14

倅信院様 御朱印写

大和國添上郡奈良町中所々大乘院坊官

并諸役者屋地子分拾六石餘事、依當家先判之例、弥不可有相違之状、如件、

延享四年八月十一日

御朱印

〔一〇〇才〕

17・15

倅信院様寺社法度 御朱印写

興福寺領之内千石者、僧侶学問之扶助

領也、寺務當職方より可被沙汰之、其外諸

式寺社法度之儀、依當家先判之例、弥不可

有相違之状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

大 乘 院 殿

17・16

湊明院様 御判物写

大和國添上郡美濃庄村之内九百拾四石

事、依當家先判之例、永不可有相違之状、〔一〇〇才〕
如件、

宝曆十二年八月十一日 家治御判

大 乘 院 殿

17・17

湊明院様 御朱印写

大和國添上郡奈良町中所々大乘院坊

官并諸役者屋地子分拾六石餘事、依

當家先判之例、弥不可有相違之状、

如件、

宝曆十二年八月十一日

御朱印

〔一〇〇才〕

17・18

湊明院様寺社法度 御朱印

興福寺領之内千石者、僧侶学問之扶助

領也、寺務當職方より可被沙汰之、

其外諸式寺社法度之儀、依當家先判之例、弥不可有相違之状、如件、

宝曆十二年八月十一日 御朱印

大 乘 院 殿

權現様 屋地子御朱印 一通

〔一〇一乙〕

台徳院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通

大猷院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通

敵有院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通

常憲院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通

〔一〇二才〕

有徳院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通
寺社法度御朱印 一通

惇信院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通
寺社法度御朱印 一通

浚明院様 御院領御判物 一通
屋地子御朱印 一通
寺社法度御朱印 一通

以上拾八通

九百拾四石 〔一〇二ウ〕

大和國添上郡美濃庄村

四月 大乘院御門跡御使 〔一〇三才〕
多田長門守 〔一〇三ウ〕

18 三 宝 院 御 門 跡

〔一〇四才〕
〔一〇四ウ〕

18 . 1

東照宮 御判物 注連祓御法度

本山之山伏、對真言宗、不謂役儀令停止畢、

但、真言宗立寄、非佛法折令執行輩

有之者、可祓、其衆、自今以後、堅守此旨、可有下知者也、

慶長十八年五月廿一日 御書判

三 宝 院

東照宮 御判物寫 修驗道御法度

修驗道之事、從先規、如有來、諸国之山伏、任筋

目可致入峯、當山本山条列之儀候条、諸役等二〇五才

互不可有混乱、自今以後、堅守此旨、無諍論

慶長十八年五月廿一日 御書判

三 宝 院

東照宮 御黒印寫 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領合三千九百九拾八石二斗

餘之事、全可被寺納、并門前境内山林竹木

等寄附之上者、為守護不入、常知行不

可有相違也、寺家諸法度、如先規、從門跡令下知、專寺院之興廢勵事教之、二〇五乙

修練亦可被抽天下安全精祈之状、如件、

慶長十五年四月廿日 御黒印

三 寶 院

東照宮 御朱印寫 真言宗諸法度

真言宗諸法度

一 從四度加行、至授職灌頂師資授法儀式、并衣鉢色淺深、可為如先規寺法事、

一 事相教相習學觀心、尤可為專要事、二〇六才

一 修法者護國利民之基也、仍密宗之建立以之為肝心、弥可抽四海安寧之丹誠事、

一 破戒無慙之比丘、可令衆拔事、

一 諸末寺可相守本寺之法度、若有法流中絶之儀者、不求他流、可糺白門濫觴、

自由之企於有之者、寺領可改易事、

一 新義之僧、積二十ヶ年學問之功、遂住山三ヶ年、其後歸國法談可為一會、但數年住山之仁、有教道器量之譽者、任能化之許、可令常法談執行事、

一 於論席、徒謗能化、企公事、妨學業事、甚以惡僧也、速可令擯出於其張本事、

〔一〇六乙〕

一 於紫衣者殊規模之事也、無勅許僧侶叨不可着用之事、

一 延喜御宇所贈賜野山大師之御衣号繪皮色或染香衣或調紫衣用赤色、然而

於香衣者、非密教之棟梁有智之高僧公達者、曾不可着之事、

一 在國之僧、近年猥申下上人号、着用香衣、甚以無其謂、自今以後、令停止訖、但有智者之譽輩者、各別事、

右、可相守此旨、若違背之僧徒於有之者、可處配流者也、仍如件、

元和元年乙卯七月日 御朱印

二〇七才

一 二百七拾石餘

醍醐村之内

一 七拾六石八斗餘

西笠取村之内

一 百石 物成也

勤修寺村之内

一 六拾石

久多郷

一 二拾五石五斗

上之野村之内

一 百拾七石六斗

大住村之内

合六百五拾石

右、如先々、可有全御知行之状、如件、

元和三年九月十一日 秀忠御書判

〔一〇六乙〕

三 寶 院 殿

台徳院様 御判物写 注連祓御法度

本山之山伏、對於真言宗申懸、不謂役儀事、堅可為停止、并於宗門之内立

寄、令祈念、更非正法者也、自今

以后、有令修行輩者、速可被祓其

衆者也、仍如件、

慶長十八年六月六日 御書判

三宝院殿

二〇八才

18・7

台徳院様 御判物写 修験道御法度

修験道之事、任先規筋目、諸国之山伏、可
為入峯、當山本山差別有之上、諸役
等互不可有混乱、以此旨、無異論様、可
有下知者也、仍如件、

慶長十八年六月六日 御書判

三宝院殿

18・8

台徳院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領合三千九百九拾八石餘事、
并門前境内山林竹木等、可為守護使
不入訊、寺家法度、坊舎再興以下、如先規、
從當門可被加下知也、諸式共以、任去
慶長十五年四月廿日先判之旨、不可有
相違之状、如件、

慶長十八年六月六日 御書判

三宝院殿

二〇九才

18・9

台徳院様 御朱印写 真言宗諸法度

真言宗諸法度

- 一 從四度加行、至授職灌頂師資授法儀式、
并衣鉢色淺深、可為如先規寺法事、
- 一 事相教相習学觀心、尤可為專要事、
- 一 修法者護國利民之基也、仍密宗之
建立、以之為肝心、弥可抽四海安寧之
丹誠事、
- 一 破戒無慙之比丘、可令衆拔事、
- 一 諸末寺可相守本寺之法度、若有法流
中絶之儀者、不求他流、可糺自門濫觴
自由之企於有之者、寺領可改易事、
- 一 新義之僧、積二十ヶ年学問之功、遂住山
三ヶ年、其後歸國法談可為一會、但数
年住山之仁、有教道器量之譽者、任
能化之許、可令常法談執行事、
- 一 於論席、徒謗能化、企公事、妨学業事、
甚以惡僧也、速可令擯出於其張本事、
- 一 於紫衣者殊規模之事也、無勅許僧侶叨不
可着用事、

一 延喜御宇贈賜野山大師之御衣号檜皮色
或染香衣或調紫衣用赤色、然間於香衣者、
非密教之棟梁有智之高僧公達者、曾不可
着之事、

一 在國之僧、近年猥申下上人号、着用香衣、甚
以無其謂、自今以後令停止訖、但有智者之譽輩
者、各別事、

右、可相守此旨、若違背之僧徒於有之者、
可處配流者也、仍如件、

元和三年九月朔日 御朱印

二一〇乙

18 · 10

大猷院様 御判物写 三寶院殿知行方

目 録

山城國

- 一 式百七拾石餘 醍醐村之内
 - 一 七拾六石八斗餘 西笠取村内
 - 一 百石 勸修寺村之内
 - 一 六拾石 物成也 久多郷
 - 一 式拾五石五斗 上之野村内
 - 一 百拾七石六斗 大住村之内
- 都合六百五拾石
- 右、任去元和三年九月十一日先判之旨、永可有
御知行之状、如件、 二一〇乙

寛永十年四月廿一日 家光御書判

三 寶 院 殿

18 · 11

大猷院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領合三千九百九拾八石餘

事、并門前境内山林竹木等、可為守護使不入
寺家法度、坊舍再興以下、如先規、從當門
可有下知也、弥任去慶長十八年六月六日先判之
旨、永不可有相違之状、如件、

寛永十年四月十八日 御書判

三 寶 院 殿

二一〇乙

18 · 12

大猷院様 御判物写 三寶院殿知行方

- 山城國宇治郡醍醐村之内式百七拾石餘、西笠
取村之内七拾六石八斗餘、勸修寺村之内百石、
愛宕郡久多郷内六拾石、乙訓郡上植野村之
内式拾五石五斗、綴喜郡大住村之内百拾七石
六斗、都合六百五拾石事、任元和三年九月十一日、
寛永十年四月廿一日両先判之旨、永不可有相

違之状、如件、

寛文五年九月廿一日 家綱御書判

三寶院殿

二二之

18・13

嚴有院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領、山城國宇治郡醍醐村千

四百五拾石式斗餘、勸修寺村五百式拾五石三斗餘、

小野村百五拾五石八斗餘、日野村四百九拾石、炭山

村式百三拾石、西笠取村三百拾九石四斗餘、東笠取

村式百七拾四石式斗、愛宕郡賀茂村六拾石、久

多郷之内六拾石、綴喜郡大住村四百七石六斗、

乙訓郡上植野村式拾五石五斗、都合三千九百九

拾八石式斗餘事、任慶長十五年四月廿日・同十八年

六月六日・寛永十年四月十八日先判之旨、永不

可有相違、并門前境内山林竹木等、守護使不二三才

入寺家法度、坊舎再興等、如先規、可被沙汰

之状、如件、

寛文五年九月廿一日 家綱御書判

三寶院殿

18・14

常憲院様 御判物写 三寶院殿知行方

山城國宇治郡醍醐村之内式百七拾石餘、西笠

取村之内七拾六石八斗餘、勸修寺村之内百石、

愛宕郡久多郷之内六拾石、乙訓郡上植野村

之内式拾五石五斗、綴喜郡大住村之内百拾七石

六斗、都合六百五拾石事、任元和三年九月十一日・二三才

寛永十年四月廿一日・寛文五年九月廿一日先判

之旨、永不可有相違之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御書判

三寶院殿

18・15

常憲院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領、山城國宇治郡醍醐村之

内千四百五拾石式斗餘、勸修寺村之内五百式拾

五石三斗餘、小野村之内百五拾五石八斗餘、日野村

四百九拾石、炭山村式百三拾石、西笠取村之内

三百拾九石四斗餘、東笠取村之内式百七拾四石・二三才

式斗、愛宕郡賀茂村之内六拾石、久多郷之内六拾石、綴喜郡大住村之内四百七拾石、乙訓郡上植野村之内式拾五石五斗、都合三千九百九拾八石式斗餘事、任慶長十五年四月廿日・同十八年六月六日・寛永十年四月十八日・寛文五年九月廿一日先判之旨、永不可有相違、并門前境内山林竹木、守護使不入、寺家法度、坊舎再興等、如先規、可被沙汰之状、如件、

貞享二年六月十一日 綱吉御書判

三 寶 院 殿

〔一三〇〕

18・16

有徳院様 御判物写 三寶院殿知行方

山城國宇治郡醍醐村之内式百七拾石餘、

西笠取村之内七拾六石八斗餘、勸修寺村之内

百石、愛宕郡久多郷之内六拾石、乙訓郡上植

野村之内式拾五石五斗、綴喜郡大住村之内

百拾七石六斗、都合六百五拾石事、依當家先

判之例、永不可有相違之状、如件、

享保四年五月廿一日 吉宗御書判

三 寶 院 殿

〔一四一〕

18・17

有徳院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領、山城國宇治郡醍醐村

之内千四百五拾石式斗餘、勸修寺村之内五百

式拾五石三斗餘、小野村之内百五拾五石八斗餘、

日野村四百九拾石、炭山村式百三拾石、西笠取

村之内三百拾九石四斗餘、東笠取村之内式百

七拾四石式斗、愛宕郡賀茂村之内六拾石、久

多郷之内六拾石、綴喜郡大住村之内四百七拾

六斗、乙訓郡上植野村之内式拾五石五斗、都合

三千九百九拾八石式斗餘事、依當家先判

之例、永不可有相違、并門前境内山林竹木、

守護使不入、寺家法度、坊舎再興等、如先規

可被沙汰之状、如件、

〔一四二〕

享保四年五月廿一日 吉宗御書判

三 寶 院 殿

18・18

惇信院様 御判物写 三寶院殿知行方

山城國宇治郡醍醐村之内貳百七拾石餘、西笠取村之内七拾六石八斗餘、勸修寺村之内百石、愛宕郡久多郷之内六拾石、乙訓郡上植野村之内貳拾五石五斗、綴喜郡大住村之内百拾七石六斗、都合六百五拾石事、依當家先判之例、御知行永不可有相違之狀、如件、

延享四年八月十一日 家重御書判

〔二五五〕

三 寶 院 殿

18・19

惇信院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領、山城國宇治郡醍醐村之内千四百五拾石貳斗餘、勸修寺村之内五百貳拾五石三斗餘、小野村之内百五拾五石八斗餘、日野村四百九拾石、炭山村貳百三拾石、西笠取村之内三百拾九石四斗餘、東笠取村之内貳百七拾四石貳斗、愛宕郡賀茂村之内六拾石、久多郷之内六拾石、綴喜郡大住村之内四百七石六斗、乙訓郡上植野村之内貳拾五石五斗、都合三千九百九拾八石貳斗餘事、依當家先判之例、永不可有相違、并門前境内山林竹木、守護使不入、寺家法度、坊舎再興等、如先規、可被沙汰之狀、如件、

延享四年八月十一日 家重御書判

〔二五〇〕

三 寶 院 殿

18・20

凌明院様 御判物写 三寶院殿知行方

山城國宇治郡醍醐村之内貳百七拾石餘、西笠取村之内七拾六石八斗餘、勸修寺村之内百石、愛宕郡久多郷之内六拾石、乙訓郡上植野村之内貳拾五石五斗、綴喜郡大住村之内百拾七石六斗、都合六百五拾石事、依當家先判之例、永不可有相違之狀、如件、

宝曆十二年八月十一日 家治御書判

〔二六一〕

三 寶 院 殿

18・21

凌明院様 御判物写 醍醐寺知行方

醍醐寺山上山下領、山城國宇治郡醍醐村之内千四百五拾石貳斗餘、勸修寺村之内五百貳拾五石三斗餘、小野村之内百五拾五石八斗餘、日野村四百九拾石、炭山村貳百三拾石、西笠取村之内參百拾九石四斗餘、東笠取村之内貳百七拾四石貳斗、愛宕郡賀茂村之内六拾石、久多郷之内六拾石、綴喜郡大住村之内四百七石六斗、乙訓郡上植野村之内貳拾五石五斗、都合三千九百九拾八石貳斗餘事、依當家先判

〔二五一〕

之例、水不可有相違、并門前境内山林竹木、守護使不入、寺家法度、坊舎再興等、如先規、可被沙汰之状、如件、

〔一六六〕

宝曆十二年八月十一日 家治御書判

三 宝 院 殿

18・22

三宝院御門跡御知行所村割

高六百五拾石

内

山城國宇治郡

一 式百七拾石餘

醍醐村

同國同郡

一 七拾六石八斗餘

西笠取村

同國同郡

一 百石

勸修寺村

〔一七〇〕

同國愛宕郡

一 六拾石

久多郷

同國乙訓郡

一 式拾五石五斗

上植野村

同國綴喜郡

一 百拾七石六斗

大住村

右之通御座候、以上、

未四月

三宝院御門跡御内

山田治部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

18・23

三宝院御門跡御支配所醍醐寺

山上山下領

高三千九百九拾八石式斗餘

内

山城國宇治郡

一 千四百五拾石式斗餘

醍醐村

同國同郡

一 五百式拾五石三斗餘

勸修寺村

同國同郡

一 百五拾五石八斗餘

小野村

同國同郡

一 四百九拾石

日野村

〔一七〇〕

一 貳百三十拾石 同國同郡 炭山村 二二八才

一 三百拾九石四斗餘 同國同郡 西笠取村

一 貳百七拾四石貳斗 同國同郡 東笠取村

一 六拾石 同國愛宕郡 賀茂村

一 六拾石 同國同郡 久多郷

一 四百七石六斗 同國綴喜郡 大住村

一 貳拾五石五斗 同國乙訓郡 上植野村

右者、醍醐寺山上山下神社仏閣并寺領等、此
内六百五拾石者、三寶院殿御寺領相籠有之候、
以上、

二二八才

未四月 三寶院御門跡御内 山田治部卿印

中山前大納言様

万里小路前大納言様
御雑掌中

18・24

御判物并御朱印之覺

東照宮

真言宗御法度

御朱印 一通

修驗道御法度

御判物 一通

注連祓御法度

御判物 一通

醍醐寺知行方

御黒印 一通

台徳院様

真言宗御法度

御朱印 一通

修驗道御法度

御判物 一通

注連祓御法度

御判物 一通

醍醐寺知行方

御判物 一通

二一九才

當御門跡御知行方御目錄 御判物 一通

大猷院様

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方御目錄 御判物 一通

嚴有院様

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方 御判物 一通

常憲院様

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方 御判物 一通

有徳院様

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方 御判物 一通

惇信院様

二一九之

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方 御判物 一通

浚明院様

醍醐寺知行方 御判物 一通

當御門跡御知行方 御判物 一通

以上

未四月

三寶院御門跡御内 山田治部卿

二二〇才
二二〇ウ

19 安井御門跡

二二二才

二二二ウ

19・1

常憲院様御朱印

山城國愛宕郡幡枝村百七拾貳石四斗三升、
花園村之内百貳拾七石五斗七升、都合三二百石
事、今度幸附之訖、全收納永不可有相違
者、可抽國家安泰之懃祈者也、仍如件、

元祿八年八月十二日 御朱印

蓮華光院

19・2

有徳院様御朱印

山城國愛宕郡幡枝村之内百七拾貳石四斗餘、
花園村之内百貳拾七石五斗餘、合三百石事、依
當家先判之例、収納永不可有相違者、可抽
國家安泰之悃祈之状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

蓮華光院

〔二二三ウ〕

20

安井御門跡持
真性寺

〔二二三オ〕
〔二二三ウ〕

20・1

東照宮御黒印

山城國京西自三条千本迄之間老石三斗八升、建仁寺廻九
斗三升、西院之内四石六斗九升、都合七石之事、全可寺

納者也、

元和元年七月廿七日 御黒印

真性寺

20・2

台徳院様御朱印

山城國京之西自三条千本迄之間老石三斗餘、建仁寺
廻九斗餘、西院内四石六斗餘、都合七石事、任元和元年
七月廿七日先判之旨、弥不可有相違者也、

元和三年七月廿一日 御朱印

真性寺

〔二二四オ〕

20・3

大猷院様御朱印

當寺領山城國京之西自三条千本迄之間老石三斗餘、建仁寺廻九
斗餘、西院之内四石六斗餘、都合七石事、任元和元年七月廿七日・同
三年七月廿一日両先判之旨、弥不可有相違者也、仍如件、

寛永十三年十一月九日 御朱印

真性寺

20・4
嚴有院様御朱印

山城國愛宕郡三條千本迄之間壺石三斗餘、建仁寺廻九斗餘、葛野郡西院村之内四石六斗餘、都合七石事、任元和元年七月廿七日・同三年七月廿一日・寛永十三年十一月九日先判之旨、真性寺全收納永不可有相違者也、

寛文五年七月十一日
御朱印

20・5

常憲院様御朱印

山城國愛宕郡三條千本迄之間壺石三斗餘、建仁寺廻九斗餘、葛野郡西院村之内四石六斗餘、都合七石事、任元和元年七月廿七日・同三年七月廿一日・寛永十三年十一月九日・寛文五年七月十一日先判之旨、真性寺全收納永不可有相違者也、

貞享二年六月十一日
御朱印

20・6
有徳院様御朱印

山城國愛宕郡從三條千本迄之間壺石三斗餘、建仁寺廻之内九斗餘、葛野郡西院村之内四石六斗餘、都合七石事、依當家先判之例、真性寺全收納、永不可有相違者也、

〔二五才〕

享保四年五月廿一日
御朱印

19・3

安井蓮華光院御門跡

常憲院様

御朱印寫

一通

右之御代より初而 御朱印被進候、

文照院様

有章院様

右両 御代 御朱印無御座候、如何様之儀三而

〔二五乙〕

無御座候哉、相知不申候、

有徳院様
御朱印寫

一通

惇信院様

俊明院様

右両御代、蓮華光院御門跡御無住三付、

御朱印不被進候、

20・7

蓮華光院御門跡御兼帯

真性寺

東照宮

御黒印寫

一通

台徳院様

御朱印寫

一通

大猷院様

御朱印寫

一通

嚴有院様

御朱印寫

一通

常憲院様

御朱印寫

一通

文照院様

有章院様

右兩御代御朱印無御座候、如何様之儀ニ而無御座候哉、相知不申候、

有徳院様

御朱印寫

一通

倅信院様

浚明院様

二二六ウ

右兩御代、蓮華光院御門跡御無住三付、御朱印不被進候、

都合八通

右之通御座候、以上、

安井蓮華光院御門跡御内

天明七年

未四月

榎本式部卿

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

19・4

安井蓮華光院御門跡御寺領村割

二二七オ

一 百貳拾七石五斗餘

山城國愛宕郡 花園村

一 百七拾貳石四斗三升

同国同郡 幡枝村

都合三百石

20・8

安井蓮華光院御門跡御兼帯

真性寺寺領村割

二二五フ

料

一 老石三斗餘

山城國愛宕郡

三条千本迄之間

資

一 一九斗餘

同国同郡

建仁寺廻り

一 四石六斗餘

山城國葛野郡

西院村

都合七石

二二七ウ

右之通御座候、以上、

安井蓮華光院御門跡御内

天明七年

未四月

榎本式部卿

中山前大納言様

万里小路前大納言様

御雜掌中

19・5、20・9

口上覺

一 安井御門跡

御朱印并御兼帶所真性寺

御朱印去ル申九月十一日

御朱印御改之節、御写差上置候、

曆之度者、御無住三付、兩寺共

延享・寶

二二八オ

二五八

御朱印頂戴之儀、兩度共三無御座候、此度

御在任有之候旨、御先格之通、

御朱印頂戴被成度御願被成候、右之段

武邊江宜御通達之儀、頼思召候、以上、

安井御門跡御内

寛政元年酉閏六月 榎本式部卿

万里小路前大納言様御内

中村大膳殿

久我大納言様御内

辻信濃守殿

岡本内記殿

二二八ウ

二二九オ

二二九ウ

21 大聖寺宮

旧御兼帶

圓照寺宮

二二〇オ

二二〇ウ

21・1

台徳院様御判物

山しろの国西賀茂村の内式百參拾四石、

同吉祥院村の内式拾參石、合式百五拾七石の

事、さきさきのことく相違なく御ちきやうある

へし、かしく、

元和三年九月十一日 御諱御書判

大しやう寺とのへ

註 いる

21・2

蔵有院様御朱印

山城國愛宕郡西賀茂村の内式百三拾四

石、紀伊郡吉祥院村の内式拾三石、合式百五拾

七石の事、元和三年九月十一日先判の旨に 二三オ

まかせ、永相違あるへからさるの状、如件、

寛文五年九月廿一日 御朱印

大聖寺の御かたへ

21・3

常憲院様御朱印

山城國愛宕郡西賀茂村の内式百三拾四石、

紀伊郡吉祥院村の内式拾三石、今林分葛野

郡嵯峨村の内七拾五石、都合三百三拾式石の

事、全御知行あるへし并今林門前境内地

千人夫等、さきくのことく、永相違あるへから 二三ウ

さるの状、如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

大聖寺の御かたへ

21・4

有徳院様御朱印

山城國愛宕郡西賀茂村の内式百三拾四石、

紀伊郡吉祥院村の内式拾三石、今林分葛野

郡嵯峨村の内七拾五石、都合三百三拾式石の事、

御知行并今林門前境内地千人夫等、當家

先判の例によりて、永相違あるへからさるの状、 二三オ

享保四年五月廿一日 御朱印

大聖寺の御かたへ

21・5

倅信院様御朱印

山城國愛宕郡西賀茂村の内二百三拾四石、
紀伊郡吉祥院村の内貳拾三石、今林分葛野
郡嵯峨村の内七拾五石、都合三百三拾貳石の事、
御知行并今林門前境内地子人夫等、當家先
判の例によりて、永相違あるへからざるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

大聖寺の御かたへ

二三才

21・6

浚明院様御朱印

山城國愛宕郡西賀茂村の内二百三拾四石、
紀伊郡吉祥院村の内二拾三石、今林分葛野
郡嵯峨村の内七拾五石、都合三百三拾貳石
乃事、御知行并今林門前境内地子人
夫等、當家先判の例によりて、永相違
あるへからざる乃状、如件、

宝曆十二年八月十一日 御朱印

大聖寺の御かたへ

21・7

御寺御所御領

御朱印寫目録

御書判

台徳院様

一通

嚴有院様

一通

常憲院様

一通

有徳院様

一通

倅信院様

一通

浚明院様

一通

右六通

東照権現様

大猷院様

右、両御代御朱印無御座候、如何様之儀

三而無之候哉、不分明ニ御座候、以上、

御寺御所御内

未四月

津田大蔵

21・8 (23・1、24・1、25・1、26・1)

御寺御所御抱寺本光院知行

御朱印寫目録

有徳院様

一通

惇信院様 一通

浚明院様 一通

御寺御所御抱寺歎喜寺知行

御朱印之寫日録

権現様 御黒印 一通

台徳院様 御朱印 一通

大猷院様 一通

敵有院様 一通

常憲院様 一通

有徳院様 一通

惇信院様 一通

浚明院様 一通

御寺御所御抱寺慈雲院知行

台徳院様 一通

敵有院様 一通

常憲院様 一通

有徳院様 一通

惇信院様 一通

浚明院様 一通

御寺御所御抱寺攝取院知行

御朱印之寫日録

台徳院様 一通

敵有院様 一通

〔二三四才〕

〔二三四才〕

常憲院様 一通

有徳院様 一通

惇信院様 一通

浚明院様 一通

以上

御寺御所御内

未四月 津田大藏

〔二三五才〕

21・10

覚

御寺御所御知行附、此度被差出候、尤村

割之儀者、先規郷村引渡之書付、本紙

無御座候付、寶曆十一年己五月御朱印

御改之節、書付被差出候、留書を以、相認

候儀ニ御座候、以上、

御寺御所御内

天明七未年四月 津田大藏印

〔二三五才〕

22・1

敵有院様

當尼寺領大和国添上郡山村二百石乃事、

新令寄附之訖、全御知行有へき

の状、如件、

二六一

料

資

寛文八年八月五日 御朱印

圓照寺御かたへ

22・2

常憲院様

當尼寺領大和国添上郡山村の内三百石の事、如先規、全御知行并境内山林竹木に至るまで、永相違有へからさるの状、如件、

〔三六五〕

貞享二年六月十一日 御朱印

圓照寺の御かたへ

22・3

有徳院様

當尼寺領大和国添上郡山村の内三百石の事、御知行并境内山林竹木に至るまで、當家先判の例によりて、永相違あるへからさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

〔三六六〕

圓照寺の御かたへ

22・4

惇信院様

當尼寺領大和国添上郡山村の内三百石の事、御知行并境内山林竹木に至るまで、當家先判の例によりて、永相違有へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

圓照寺の御かたへ

22・5

湊明院様

當尼寺領大和国添上郡山村の内三百石の事、御知行并境内山林竹木に至るまで、當家先判の例によりて、永相違有へからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

圓照寺の御かたへ

〔三七〇〕

二六二

圓照寺宮御寺領

大和国添上郡

高三百石

山村の内

二三七ウ

並御境内山林竹木共

右之通御座候、以上、

圓照寺宮御内

未四月

多田右京印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

御収納之事御座候、

一 常憲院様御代貞享三年寅四月

御朱印御改之節、御加増之百石并御境内

二三八オ

山林竹木之儀、御一紙御改被進候事、

一 文照院様

一 有章院様

一 此御二代御朱印無御座候、

一 有徳院様

一 惇信院様

一 湊明院様

右御三代共、先規之通、

御朱印被進候事、

右之通御座候、以上、

圓照寺宮御内

未四月

多田右京印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

二三八ウ

二三九オ

二三九ウ

大聖寺宮御持

23 本光院

24 歎喜寺

25 慈雲院

26 撰取院

二三八オ
二三九ウ
二三九ウ

有徳院様

資 料

山城國乙訓郡今里村の内五拾八石、上久世村の内式拾七石、愛宕郡下鴨村の内三拾五石、都合百貳拾石の事、本光院收納、永相違有へからざる者也、

享保四年五月廿一日

御朱印

23・3

倅信院様

山城國乙訓郡今里村の内五拾八石、上久世村の内式拾七石、愛宕郡下鴨村の内三拾五石、都合百貳拾石の事、本光院收納、永相違有へからざる者也、

延享四年八月十一日

御朱印

23・4

湊明院様

山城國乙訓郡今里村の内五拾八石、上久世村の内式拾七石、愛宕郡下鴨村の内三拾五石、都合百貳拾石の事、本光院收納、永相違

有へからざる者也、

實曆十二年八月十一日

御朱印

24・2

權現様

山城國西院内式拾六石五斗貳升、二條三條之間拾五石九升、都合四拾壹石六斗余之、全可寺納者也、仍如件、

元和元年七月廿七日 御黒印

歛 喜 寺

24・3

台徳院様

領山城國西院之内式拾六石五斗餘、二條三條之間拾五石餘、都合四拾壹石六斗餘事、任元和元年七月廿七日先判之旨、全寺納、弥不可有相違者也、

元和三年七月廿一日 御朱印

歎喜寺

24・4

大猷院様

當寺領山城國西院之内貳拾六石五斗餘、二條三條之間拾五石餘、都合四拾壹石六斗餘事、任元和元年七月廿七日・同三年七月廿一日兩先判之旨、〔二四三ウ〕 弥不可有相違者也、仍如件、

寛永十三年十一月九日御朱印

歎喜寺

24・5

殿有院様

山城國葛野郡西院村之内貳拾六石五斗餘、愛宕郡二條三條之間拾五石餘、合四拾壹石六斗餘事、任元和元年七月廿七日・同三年七月廿一日・寛永十三年十一月九日先判之旨、歎喜寺全收納、永不可有相違者也、

寛文五年七月十一日

御朱印

〔二四三ウ〕

常憲院様

24・6

山城國葛野郡西院村之内貳拾六石五斗餘、愛宕郡二條三條之間拾五石餘、合四拾壹石六斗餘事、任元和元年七月廿七日・同三年七月廿一日・寛永十三年十一月九日・寛文五年七月十一日先判之旨、歎喜寺全收納、永不可有相違者也、

貞享二年六月十一日

御朱印

24・7

有徳院様

山城國葛野郡西院村之内貳拾六石四斗餘、三條臺之内貳石貳斗餘、中堂寺村之内九石餘、西京村之内四石、都合四拾壹石六斗餘事、依當家先判之例、歎喜寺收納、永不可有相違者也、

享保四年五月廿一日

御朱印

24・8

惇信院様

山城國葛野郡西院村之内貳拾六石四斗餘、三條臺之内貳石貳斗餘、

二六五

〔二四三ウ〕

中堂寺村之内九石餘、西京村之内四石、都合四拾壹石六斗餘事、依當家先判之例、歛喜寺收納、永不可有相違者也、

延享四年八月十一日

御朱印

〔二四四才〕

24・9

浚明院様

山城國葛野郡西院村之内式拾六石四斗餘、三條臺之内式石式斗餘、中堂寺村之内九石餘、西京村之内四石、都合四拾壹石六斗餘事、依當家先判之例、歛喜寺收納、永不可有相違者也、

宝曆十二年八月十一日

御朱印

25・2

台徳院様

山城國上植野村之内六石事、さき／＼のことく知行あるへき也、

元和三年九月十日 御朱印

〔二四四才〕

慈雲院

25・3
巖有院様

山城國乙訓郡上植野村の内六石事、元和三年九月十日先判の旨にまかせ、慈雲院全收納、永相違あるへからざる者也、

寛文五年九月廿一日

御朱印

25・4

常憲院様

山城國乙訓郡上植野村の内六石の事、元和三年九月十日・寛文五年九月廿一日両先判の旨にまかせ、〔二四五才〕慈雲院全收納、永相違有へからざる者也、

貞享二年六月十一日

御朱印

25・5

有徳院様

山城國乙訓郡上久世村の内六石の事、當家先判の例によりて、慈雲院收納、永相違有へからざる者也、

享保四年五月廿一日
御朱印

〔四五乙〕

25・6
惇信院様

山城國乙訓郡上久世村の内六石の事、當家先判の例によりて、慈雲院収納、永相違有へからざる者也、

延享四年八月十一日
御朱印

25・7

俊明院様

山城國乙訓郡上久世村の内六石の事、當家先判の例によりて、慈雲院収納、永相違有へからざる者也、

〔四六乙〕

寶曆十二年八月十一日
御朱印

26・2

台徳院様

山城國西院村之内四石九斗餘、吉田村之内壹石餘、合六石事、さき／＼のことく知行あるへく候、かしく、

元和三年九月七日御朱印

せつしゆるん

〔四六丙〕

26・3
敝有院様

山城國葛野郡西院村の内四石九斗餘、愛宕郡吉田村の内壹石餘、合六石の事、元和三年九月七日先判之旨にまかせ、撰取院全収納、永相違あるへからざる者也、

寛文五年九月廿一日

御朱印

26・4

常憲院様

山城國葛野郡西院村の内四石九斗餘、愛宕郡吉田村の内壹石餘、合六石の事、元和三年九月七日、寛文五年九月廿一日向先判之むねにまかせ、撰取院全収納、永相違有へからざる者也、

〔四七乙〕

貞享二年六月十一日

御朱印

26・5

有徳院様

山城國葛野郡西院村之内四石九斗餘、愛宕郡吉田

村之内壹石餘、合六石の事、當家先判の例によりて、

摂取院収納、水相違有へからさる者也、

享保四年五月廿一日

御朱印

26・6

惇信院様

山城國葛野郡西院村の内四石九斗餘、愛宕郡

吉田村の内壹石餘、合六石の事、當家先判の例

によりて、摂取院収納、永相違有へからさる者也、

延享四年八月十一日

御朱印

26・7

湊明院様

山城國葛野郡西院村の内四石九斗餘、愛宕郡

吉田村の内壹石餘、合六石の事、當家先判の例

によりて、摂取院収納、永相違有へからさる者也、

寶曆十二年八月十一日

御朱印

二四八乙

21・11 (23・5, 24・10, 25・8, 26・8)

御寺御所知行所

一 高式拾三石

山城國紀伊郡吉祥院村

一 高式百三拾四石

山城國愛宕郡西賀茂村

一 高七拾五石

山城國葛野郡上嵯峨村

石高合三百三拾式石

御寺御所御抱寺本光院知行所

一 高式拾七石

山城國乙訓郡上久世村

一 高三拾五石

山城國愛宕郡下鴨村

一 高五拾八石

山城國乙訓郡今里村 二四八乙

石高合百貳拾石

御寺御所御抱寺歡喜寺知行所

一 高式拾六石五斗貳升

山城國葛野郡西院村

一 高式石貳斗三升七合

山城國愛宕郡

二城御城廻り三条臺

一 高拾貳石九斗三升三合

山城國葛野郡中堂寺村

一 高四石六斗壹升 山城国葛野郡西京村

石高合四拾六石三斗

下ケ札

右、歎喜寺分ニ御朱印より高四石七斗程多候事ハ、右
三条亭之内ヲ、万治二年・寛文二年之頃、御用地ニ被
召上、為替地、右中堂寺村・西ノ京村より御渡候節ニ多候、

〔二四九才〕

御寺御所御抱寺慈雲院知行所

一 高六石 山城国乙訓郡上久世村

御寺御所御抱寺 摂取院知行所

一 高四石九斗六升 山城国葛野郡西院村

一 高壹石余 山城国愛宕郡吉田村

石高合五石九斗六升余

右之通御座候、以上、

御寺御所御内

天明七丁未年四月 津田大藏印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

〔二四九才〕

光照院宮

〔二五〇才〕

台徳院様御朱印

目録

一 貳百三拾石 相楽村之内

一 九拾石 上久世村之内

一 三石 白川村之内

一 五拾五石貳斗 吉祥院村之内

此内四拾石御霊宮分

一 七拾五石 今村分 嵯峨之内

合四百五拾八石貳斗

右、さきさきのことく知行あるへく候也、

かしく、

元和三年九月七日 御朱印

くわうせうるんとのへ

〔二五二才〕

厳有院様御朱印

目録

山城国相楽郡

一 貳百三拾石 相楽村之内

同国乙訓郡

一 九拾五石 久世村

料

一 三石 同國愛宕郡 白川村之内

資

一 五拾五石貳斗 同國葛野郡 吉祥院村之内

此内四拾石御盞宮分

一 七拾五石 今村分 同郡 嵯峨之内

都合四百五拾八石式斗

〔一五二ウ〕

右の所々、元和三年九月七日先判之旨にまかせ、全知行あるへきの状、如件、

寛文五年七月十一日 御朱印

光照院の御方へ

27・3

常憲院様御朱印

山城國相楽郡相楽村の内式百三拾石、乙訓郡久世村の内九拾五石、愛宕郡白川村の内三石、都合三百式拾八石の事、さきさきのごとく全知行、永相違あるへからさるの状、如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

光照院の御かたへ

27・4

有徳院様御朱印

山城國相楽郡相楽村の内式百三拾石、乙訓郡久世村の内九拾五石、愛宕郡白川村の内三石、都合三百式拾八石の事、當家先判の例によりて、御知行、永相違有へからさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

光照院の御かたへ

27・5

惇信院様御朱印

山城國相楽郡相楽村の内式百三拾石、乙訓郡久世村の内九拾五石、愛宕郡白川村の内三石、都合三百式拾八石の事、當家先判の例によりて、御知行、永相違有へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

光照院の御かたへ

27・6

浚明院様御朱印

山城國相樂郡相樂村の内式百三拾石、乙訓郡久世村の内九拾五石、愛宕郡白川村の内三石、都合三百式拾八石の事、當家先判の例によりて、御知行、永相違有へからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

二五三オ

光照院の御かたへ

27・7

光照院宮御朱印之覺

一 台徳院様 嚴有院様

常憲院様 有徳院様

惇信院様 浚明院様

右 御六代御朱印寫、此度被指出候、

權現様 大猷院様

一 右 御二代御朱印者、被遂御吟味候得共、

無御座候、以上、

二五三ウ

光照院宮御内

天明七丁末年四月 岡本中務印

27・8

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

萬里小路前大納言様御内

山本式部殿

光照院宮御寺領村割之覺

一 高三百式拾八石

内 山城國相樂郡 相樂村之内

式百三拾石 山城國乙訓郡 久世村之内

九拾五石 山城國愛宕郡 白川村之内

三石 右之通三御座候、以上、

右之通三御座候、以上、

光照院宮御内

天明七丁末年四月 岡本中務印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

萬里小路前大納言様御内

山本式部殿

山本式部殿

後藤圖書殿

萬里小路前大納言様御内

山本式部殿

二五四オ

二五四ウ

27・9

資料

光照院宮御寺領高之事

御先代御朱印

一 高四百五拾八石貳斗与御座候、

山城國葛野郡

内 吉祥院村之内

五拾五石貳斗 此内四拾石御靈宮分与 御朱印ニ御座候、

右貞享二年従 常憲院様御朱印御改

之節、惣高共 近衛殿江相分レ申候、

山城國葛野郡

七拾五石 嵯峨之内

今林分与 御朱印ニ御座候、

右貞享二年従 常憲院様御朱印

御改之節、惣高大聖寺殿江相分レ申候、

二五五才

?

二五五才

右、兩所江相分レ候子細被遂御吟味候得共、是
又相知レ不申候、當
御朱印高三百貳拾八石ニ而御座候、以上

光照院宮御内印

天明七丁未年四月 岡本中務

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

萬里小路前大納言様御内
山本式部殿

二五六才

28 林丘寺宮

二五六才

28・1

常憲院様御朱印

山城國愛宕郡修学院村の内三百石の事、

寄附之訖、全御知行相違あるへから

さるの状、如件、

貞享十二年六月十一日 御朱印

林丘寺の御かたへ

二五七才

二五七才

28・2

有徳院様御朱印

山城國愛宕郡修学院村の内三百石の事、

當家先判之例によりて御知行相違有へ

からさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

林丘寺の御かたへ

二五八才

28・3

惇信院様御朱印

山城國愛宕郡修学院村の内三百石の事、
當家先判之例によりて御知行相違有
へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

林丘寺の御かたへ

〔二五八ウ〕

28・4

浚明院様御朱印

山城國愛宕郡修学院村の内三百石の事、
當家先判之例によりて御知行相違
有へからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

林丘寺の御かたへ

28・5

常憲院様 覚

一 常憲院様

御朱印 一通

右之御朱印 始而被進候、

一文照院様

一 有章院様

右之 御二代御朱印無御座候、御旧記致

吟味候得共、子細不相知候、

一 有徳院様

御朱印

一 惇信院様

御朱印

一 浚明院様

御朱印

一 右之通御座候、以上、

未

四月

中山前大納言様御内

万里小路前大納言様御内

御雑掌中

林丘寺宮御内

赤尾主馬

28・6

覚

〔二五九才〕

〔二五九ウ〕

料 御寺領 山城國愛宕郡

一 高三百石 修学院村之内

資 右之通御座候、以上、 〔二六〇才〕

天明七年 未 四月 林丘寺宮御内 赤尾主馬 印

中山前大納言様 万里小路前大納言様

御雜掌中 〔二六〇才〕

29 中宮寺宮 〔二六一才〕 〔二六一才〕

29・1

常憲院様御朱印

大和國平群郡法隆寺村の内四拾六石式斗餘事、今度寄附之訖、全御知行あるへし、并山林竹木諸役等免除、永相違あるへからさるの状、如件、

寶永四年十一月四日 御朱印

中宮寺の御かたへ

29・2 有徳院様御朱印

大和國平群郡法隆寺村の内四拾六石式斗餘事、當家先判の例によりて、御知行并山林竹木諸役等免除、永相違有へからさるの状、如件、 〔二六二才〕

享保四年五月廿一日 御朱印

中宮寺の御かたへ

29・3

湊明院様御朱印

大和國平群郡法隆寺村の内四拾六石式斗餘事、當家先判の例によりて、御知行并山林竹木諸役等免除、永相違有へからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

中宮寺の御かたへ

〔二六二才〕

口上之覺

一 中宮寺宮御寺領之儀、御買附之田地御寺領被遊、

御朱印被為 成進候様、

常憲院様 御代御願被仰上候處、御寺領并

山林諸役 御免除之 御朱印、寶永四亥年

十一月四日始被為 成進候、

一 享保四亥年五月廿一日

有徳院様 御判物 御朱印被為成進候、

延享三寅年二月

惇信院様 御判物 御朱印

御改之節、中宮寺宮御無位三付、御朱印不被

為 成進候、

一 寶曆十二年八月十一日

浚明院様 御判物 御朱印被為成進候、

中宮寺宮御寺領、大和國平群郡法隆寺

村の内、高四拾六石式斗餘、右御知行之外、他領三

老所茂御領地無之候、今度 御判物

御朱印之寫差上候三付、如此三御座候、以上、

二六三ウ

中宮寺殿御内

天明七年 未 四月

松崎内匠 印

中山前大納言様

後藤圖書殿

万里小路前大納言様

山本式部殿

口上之覺

一 中宮寺宮御知行所御引渡之目録

等無御座候、御寺領大和國平群郡法隆寺

村之内、高四拾六石式斗餘、先年從

一位様御買附被進候処、宝永四亥年十一

月四日御朱印御直シ被進候三付、御百姓老人

茂無御座候、他領之百姓江當作ヲ

仰付置候故、村割書付等無御座候、以上、

中宮寺殿御内

天明七年 未 四月

松崎内匠 印

中山前大納言様御内

後藤 圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本 式部殿

二六四ウ

三時智恩寺殿

二七五

30・1

台徳院様御判物

山しろの國吉祥院村の内八拾四石六斗、同上
久世村の内六十石、同山しなの郷四宮村の内
四石五斗、都合百四拾九石壹斗事、さきさきの
ことく相違なく御ちきやうある
へく候、かしく、

元和三年九月十一日 御名乗御書判

いり江とのへ

まいる

30・2

蔵有院様御朱印

山城國紀伊郡吉祥院村の内八拾四石六斗、
乙訓郡上久世村之内六十石、宇治郡山科郷
四宮村の内四石五斗、都合百四拾九石壹斗
の事、元和三年九月十一日先判の旨
にまかせ、永相違あるへからざるの
状、如件、

二六六オ

二六五オ
二六五ウ

寛文五年九月廿一日 御朱印

入江 とのへ

30・3

常憲院様御朱印

山城國紀伊郡吉祥院村の内八拾四石六斗、
乙訓郡上久世村の内六拾石、宇治郡山科郷
四宮村の内四石五斗、都合百四拾九石壹斗
の事、元和三年九月十一日・寛文五年
九月廿一日両先判のむねにまかせ、永
相違有へからざるの状、如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

入江の御かたへ

30・4

有徳院様御朱印

山城國紀伊郡吉祥院村の内八拾四石六斗、乙訓
郡上久世村の内六拾石、宇治郡山科郷四宮
村の内四石五斗、都合百四拾九石壹斗の事、
當家先判の例によりて、永相違有

二六七オ

へからさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

入江とのへ

30・5

惇信院様御朱印

山城國紀伊郡吉祥院村の内八拾四石六斗、

乙訓郡上久世村の内六拾石、宇治郡山科郷

四宮村の内四石五斗、都合百四拾九石壹斗

の事、當家先判の例によりて、永相

違有へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

入江とのへ

30・6

湊明院様御朱印

山城國紀伊郡吉祥院村の内八拾四石六

斗、乙訓郡上久世村の内六拾石、宇治郡山

科郷四宮村の内四石五斗、都合百四拾九石

二六七〇

壹斗の事、當家先判の例によりて、永相違有へからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

入江とのへ

30・7

三時智恩寺

入江殿御寺領御判物御朱印

台徳院様御判物 一通

嚴有院様御朱印 一通

常憲院様御朱印 一通

有徳院様御朱印 一通

惇信院様御朱印 一通

湊明院様御朱印 一通

右之通、御朱印六通御所持三而御座候、

右之外、

御先代御朱印者無御座候、以上、

二六八〇

二六八〇

30・8

四月 杉山主膳

二七七

三時智恩寺

入江殿御寺領

高百四拾九石壹斗

内

山城國紀伊郡

八拾四石六斗

吉祥院村之内

山城國乙訓郡

六拾石

上久世村之内

山城國宇治郡山科郷

四石五斗

四宮村之内

右之通、相違無御座候、以上、

天明七未年四月 杉山主膳印

二六九乙

31

總持院殿

二七〇乙

二七〇乙

31・1

台徳院様

山城國上久世村之内三十三石、同松崎村内

三拾石、吉祥院村之内拾壹石八斗、合七十

四石八斗事、さきさきのごとく知行あるへく候、かしく、

元和三年九月七日 御朱印

總持院とのへ

二七八

31・2

嚴有院様

山城國乙訓郡上久世村の内三拾三石、愛宕

郡松崎村の内三拾石、紀伊郡吉祥院村の内

拾壹石八斗、都合七拾四石八斗の事、元和 二七二乙

三年九月七日先判の旨にまかせ、永相違ある

へからさる者也、仍如件、

寛文五年九月廿一日 御朱印

總持院

31・3

常憲院様

山城國乙訓郡上久世村の内三拾三石、愛宕

郡松崎村の内三拾石、紀伊郡吉祥院村の内

拾壹石八斗、都合七拾四石八斗の事、元和三年

九月七日・寛文五年九月廿一日両先判のむね

にまかせ、永相違あるへからさる者也、仍如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

総持院

〔七二ウ〕

31・4

有徳院様

山城國乙訓郡上久世村の内三拾三石、愛宕郡松ヶ崎村の内三拾石、紀伊郡吉祥院村の内拾壹石八斗、都合七拾四石八斗の事、當家先判の例ニよりて、永相違有へからざるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

総持院

〔七二エ〕

31・5

惇信院様

山城國乙訓郡上久世村の内三拾三石、愛宕郡松ヶ崎村の内三拾石、紀伊郡吉祥院村の内拾壹石八斗、都合七拾四石八斗の事、當家先

判の例ニよりて、永相違有へからざるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

総持院

〔七二ウ〕

31・6

湊明院様

山城國乙訓郡上久世村の内三拾三石、愛宕郡松ヶ崎村の内三拾石、紀伊郡吉祥院村の内拾壹石八斗、都合七拾四石八斗の事、當家先判の例ニよりて、永相違有へからざるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

総持院

31・7

總持院殿寺領村割

内 高七拾四石八斗

〔七二三〕

三拾三石

山城國乙訓郡

上久世村之内

三拾石

同國愛宕郡

松ヶ崎村之内

拾壹石八斗

同國紀伊郡

吉祥院村之内

右之通御座候、

以上、

總持院殿御内

井上典膳 印

天明七年四月

中山前大納言様御内

後藤 圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本 式部殿

〔二七三〕

31・8

總持院殿

權現様

右 御朱印無御座候、如何様之儀ニ而

無御座候哉、委細相知不申候、

台徳院様

御朱印寫

一通

大猷院様

右 御朱印無御座候、如何様之儀ニ而
無御座候哉、相知不申候、

敝有院様

御朱印寫

一通

〔二七四〕

常憲院様

御朱印寫

一通

文照院様

有章院様

右 御向代 御朱印無御座候、如何様之
儀ニ而無御座候哉、委細相知不申候、

有徳院様

御朱印寫

一通

惇信院様

御朱印寫

一通

俊明院様

御朱印寫

一通

都合六通

右之通御座候、以上、

〔二七四〕

總持院殿御内

天明七年四月

井上典膳 印

中山前大納言様御内

後藤 圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

〔七五才〕

〔七五ウ〕

32 寶慈院殿

〔七六才〕

〔七六ウ〕

32・1

台徳院様御朱印寫

山城國吉祥院村之内四拾壹石壹斗餘、同西

賀茂之内拾九石五斗餘、京東三本木參斗

餘、合六拾壹石餘事、前々のごとく知行ある

へく候、かしく、

元和三年九月七日 御朱印

寶し院とのへ

上る

32・2

殿有院様御朱印寫

山城國紀伊郡吉祥院村の内四拾壹石壹

斗餘、愛宕郡西賀茂村の内拾九石五斗餘、

〔七七才〕

天部村の内三斗餘、合六拾壹石餘の事、

元和三年九月七日先判の旨にまかせ、永相違

有へからざる者也、仍如件、

寛文五年九月廿一日 御朱印

寶慈院

32・3

常憲院様御朱印寫

山城國紀伊郡吉祥院村の内四拾壹石壹

斗餘、愛宕郡西賀茂村の内拾九石五斗餘、

天部村の内三斗餘、都合六拾壹石餘の事、

元和三年九月七日・寛文五年九月廿一日

両先判のむねにまかせ、永相違有へから

ざる者也、仍如件、

〔七七ウ〕

貞享二年六月十一日 御朱印

寶慈院

32・4

有徳院様御朱印寫

山城国紀伊郡吉祥院村の内四拾壹石壹斗餘、愛宕郡西賀茂村の内拾九石五斗餘、天部村の内三斗餘、都合六拾壹石餘事、當家先判の例ニよりて、永相違有るへからさるの状、如件、

二七八オ

享保四年五月廿一日 御朱印

實 慈 院

32・5
惇信院様御朱印寫

山城国紀伊郡吉祥院村の内四拾壹石壹斗餘、愛宕郡西賀茂村の内拾九石五斗餘、天部村の内三斗餘、都合六拾壹石餘事、當家先判の例ニよりて、永相違有るへからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

實 慈 院

二七八ウ

32・6

渡明院様御朱印寫

山城国紀伊郡吉祥院村の内四拾壹石壹斗餘、愛宕郡西賀茂村の内拾九石五斗餘、天部村の内三斗餘、都合六拾壹石餘事、當家先判の例ニよりて、永相違有るへからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

實 慈 院

二七九オ

32・7

實慈院寺領村割

一 四拾壹石壹斗餘 山城國紀伊郡 吉祥院村之内

一 拾九石五斗餘 同國愛宕郡 西賀茂村之内

同國同郡

一 三斗餘 右之通御座候、以上、 天部村之内

未四月 實慈院内 田中典膳印

32
・8

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

二七九ウ

寶慈院寺領

御代々御朱印寫目錄

一 台徳院様御朱印寫 一通

一 廠有院様御朱印寫 一通

一 常憲院様御朱印寫 一通

一 有徳院様御朱印寫 一通

一 惇信院様御朱印寫 一通

一 浚明院様御朱印寫 一通

一 右六通

一 東照権現様

一 大猷院様

右両 御代 御朱印不被所持候、如何様

之訳三而無之候哉、相知不申候事、

寶慈院内

未四月

田中典膳

二八〇ウ

33

繼孝院

二八一ウ

二八二ウ

33
・1

台徳院様

山城國上久世村之内六拾八石、西院村之内老石

餘、合六拾九石餘事、前々のごとく御知行ある

へく候、かしく、

元和三年九月七日 御朱印

繼かう院とのへ

まいる

33
・2

廠有院様

山城國乙訓郡上久世村の内六拾八石、葛野郡

西院村の内老石餘、合六拾九石餘の事、元和

三年九月七日先判の旨にまかせ、永相違あるへからざる者

也、仍如件、

二八二ウ

寛文五年九月廿一日 御朱印

繼孝院

33・3

常憲院様

山城國乙訓郡上久世村の内六拾八石、葛野郡西院村の内壹石餘、合六拾九石餘の事、元和三年九月七日・寛文五年九月廿一日両先判のむねニまかせ、永相違あるへからさる者也、仍如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

〔二八三乙〕

繼孝院

33・4

有徳院様

山城國乙訓郡上久世村の内六拾八石、葛野郡西院村の内壹石餘、合六拾九石餘の事、當家先判の例ニよりて、永相違有へからさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

繼孝院

〔二八三乙〕

33・5

倅信院様

山城國乙訓郡上久世村の内六拾八石、葛野郡西院村の内壹石餘、合六拾九石餘の事、當家先判の例ニよりて、永相違有へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

繼孝院

33・6

湊明院様

山城國乙訓郡上久世村の内六拾八石、葛野郡西院村の内壹石餘、合六拾九石餘の事、當家先判の例ニよりて、永相違有へからさるの状、如件、

〔二八三乙〕

寶曆十二年八月十一日 御朱印

繼孝院

33・7

繼孝院寺領村々所附

一 六拾八石

山城國乙訓郡上久世村之内

一 老石餘

都合六拾九石餘

同 國葛野郡西院村之内

天明七丁未年四月

繼孝院内

祖休

〔二八四才〕

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

〔二八四才〕

33 · 8

覺

繼孝院知行附、此度被指出候村割之儀者先規郷村引渡之書付、本紙無御座候ニ付、寶曆十一年巳五月

御朱印御改之節、書付被指出候留書を以、相認候儀ニ御座候、以上、

繼孝院内

天明七丁未年四月

祖休印

33 · 9

繼孝院寺領

御代々御朱印寫目錄

一 台徳院様

一 嚴有院様

一 常憲院様

一 有徳院様

一 惇信院様

一 浚明院様

一 右六通

一 東照権現様

一 大猷院様

右両御代 御朱印無御座候、如何様之儀ニ

而無之候哉、不分明候、

右之通ニ御座候、以上、

繼孝院内

未年四月

祖休

〔二八五才〕

34 瑞華院

〔二八六才〕

〔二八六才〕

34 · 1

台徳院様御朱印写

山しろの國上久世村の内四拾石事、さ

きくのことく相違なく、ちきやうある

へく候、かしく、

一八五

元和三年九月十一日 御朱印

すい花みんとのへ

まいる

34・2

藏有院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内四拾石

の事、元和三年九月十一日先判の旨ニ

まかせ、永相違あるへからさる者也、仍如件、

二八七オ

寛文五年九月廿一日 御朱印

瑞花院

34・3

常憲院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内四拾石の事、

元和三年九月十一日・寛文五年九月廿一日両先

判のむねニまかせ、永相違あるへからさる

者也、仍如件、

貞享二年六月十一日 御朱印

瑞花院

34・4

有徳院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内四拾石の事、

當家先判の例ニよつて、永相違ある

へからさるの状、如件、

享保四年五月廿一日 御朱印

瑞花院

34・5

惇信院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内四拾石の事、

當家先判の例ニよつて、永相違ある

へからさるの状、如件、

延享四年八月十一日 御朱印

瑞花院

二八八オ

34・6

淡明院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内四拾石の
事、當家先判の例ニよりて、永相違あ
るへからさるの状、如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

瑞花院

34・7

瑞花院寺領

沓ヶ村

山城國乙訓郡

高四拾石

上久世村

右之通御座候、以上、

天明七丁未年四月 瑞花院内
倉田嘉右衛門 印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

二八八ウ

35・1

瑞花院兼帯

惠聖院寺領村割

高貳拾五石

内 山城國乙訓郡

高貳拾石 上久世村之内

山城國葛野郡

高四石 西院村之内

山城國葛野郡

高老石 壬生村之内

右之通御座候、以上、

天明七丁未年四月 瑞花院内
倉田嘉右衛門 印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

34・8

瑞花院寺領

御代々御朱印寫目錄

二八九ウ

二八七

- 一 台徳院様 一通 〔一九〇才〕
- 一 嚴有院様 一通 〔一九一才〕
- 一 常憲院様 一通 〔一九一才〕
- 一 有徳院様 一通 〔一九一才〕
- 一 惇信院様 一通 〔一九一才〕
- 一 浚明院様 一通 〔一九〇才〕
- 一 右六通
- 一 東照権現様
- 一 大猷院様
- 一 右両 御代御朱印無御座候、如何様之儀ニ而無之候哉、不分明候、右之通御座候、以上、
- 瑞花院内
- 四月 倉田嘉右衛門 〔一九〇才〕
- 瑞華院兼帯
- 恵 聖 院 〔一九一才〕
- 〔一九一才〕
- 35・2 台徳院様御朱印写
- 山城のくに西院むらの内四石餘、三

- 一 ほん木のうち七斗餘、上くせむらの内式十石、合式十五石の事、さきくのごとく相違なく、知行あるへく候、かしく、
- 元和三年九月七日 御朱印
- 糸しやうめん
- 35・3 嚴有院様御朱印写
- 山城國葛野郡西院村の内四石餘、壬生村の内七斗餘、乙訓郡上久世村能内式拾石、都合式拾五石の事、元和三年九月七日先判の旨ニまかせ、永相違あるへからざる者也、仍如件、
- 〔一九二才〕
- 寛文五年九月廿一日 御朱印
- 恵 聖 院
- 35・4 常憲院様御朱印写
- 山城國乙訓郡上久世村の内式拾石、

葛野郡西院村の内四石、壬生村の内
壹石、都合式拾五石の事、元和三年
九月七日・寛文五年九月廿一日両先
判の旨ニまかせ、永相違有へからざる
者也、仍如件、

〔一九二ウ〕

貞享二年六月十一日 御朱印

恵聖院

35・5

有徳院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内式拾石、
葛野郡西院村の内四石、壬生村の内
壹石、都合式拾五石の事、當家先
判の例ニよりて、永相違あるへ
からざるの状、如件、

〔一九三オ〕

享保四年五月廿一日 御朱印

恵聖院

35・6

惇信院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内式拾石、
葛野郡西院村の内四石、壬生村の内
壹石、都合式拾五石の事、當家先判
判の例ニよりて、永相違あるへからざる
の状、仍如件、

〔一九三ウ〕

延享四年八月十一日 御朱印

恵聖院

35・7

湊明院様御朱印写

山城國乙訓郡上久世村の内式拾石、
葛野郡西院村の内四石、壬生村の内
壹石、都合式拾五石の事、當家先判
の例ニよりて、永相違あるへからざる
の状、仍如件、

寶曆十二年八月十一日 御朱印

恵聖院

35・8

恵聖院寺領

〔一九四オ〕

資 料

御代々御朱印寫目錄

一 台徳院様 一通

一 嚴有院様 一通

一 常憲院様 一通

一 有徳院様 一通

一 惇信院様 一通

一 湊明院様 一通

一 右六通

一 東照権現様

一 大猷院様

右両 御代御朱印無御座候、如何様

之儀ニ而無之候哉、不分明候、 [二九四ウ]

右之通ニ御座候、以上、

四月

瑞花院内

倉田嘉右衛門

[二九五オ]

[二九五ウ]

36 養 林 菴

[二九六オ]

[二九六ウ]

36・1

権現様

山城國深草之内三拾壹石之事、全可收納者也、

仍如件、

元和元年七月廿七日御黒印

養 林 菴

36・2

台徳院様

山城國深草之内參拾壹石事、任去元和元年

七月廿七日先判之旨、可寺納者也、

元和三年八月廿八日御朱印

[二九七オ]

養 林 菴

36・3

嚴有院様

山城國紀伊郡深草村之内三拾壹石の事、元和

元年七月廿七日・同三年八月廿八日両先判の旨ニ

まかせ、養林庵全收納、永相違あるへからざる者也、

寛文五年九月廿一日

御朱印

36・4

常憲院様

山城國紀伊郡深草村の内三拾壹石の事、元和二九七乙
元年七月廿七日・同三年八月廿八日・寛文五年九月
廿一日先判のむねニまかせ、養林庵全收納、永
相違あるへからさる者也、

貞享二年六月十一日
御朱印

36・5

有徳院様

山城國紀伊郡深草村の内三拾壹石の事、當家
先判の例ニよりて、養林庵收納、永相違有へ
からさる者也、

享保四年五月廿一日
御朱印

二九八才

36・6

惇信院様

山城國紀伊郡深草村の内三拾壹石の事、
當家先判の例ニよりて、養林庵收納、永相違

有へからさる者也、

延享四年八月十一日

御朱印

36・7

凌明院様

山城國紀伊郡深草村の内三拾壹石の事、當家
先判の例ニよりて、養林庵收納、永相違有へ二九八乙
からさる者也、

寶曆十二年八月十一日

御朱印

36・8

覺

養林庵知行附、此度被差出候村割之儀者、先規郷
村引渡之書付、本紙無御座候ニ付、寶曆十一年巳三月
御朱印御改之節、書付被差出候留書を以、相認候
義ニ御座候、以上、

天明七丁未四月

養林庵内

千葉伊織 印

二九九才

養林庵領

山城國紀伊郡深草村之内

高

三拾壹石

右之通_三御座候、以上、

天明七年丁未四月

養林庵印

中山前大納言様御内

後藤圖書殿

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

二九九乙

覺

権現様 御黒印寫

台徳院様 御朱印寫

厳有院様 御朱印寫

常憲院様 御朱印寫

有徳院様 御朱印寫

惇信院様 御朱印寫

浚明院様 御朱印寫

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

以上七通

養林庵

二〇〇乙

二九二

二〇〇乙